資料ー4

令和7年度　馬場目川水系

流域治水プロジェクト
および
水災害対策プロジェクト

雄物川圏域流域治水協議会

雄物川下流圏域分科会

資料－４－１

馬場目川水系
流域治水プロジェクトについて

令和3年　8月30日策定

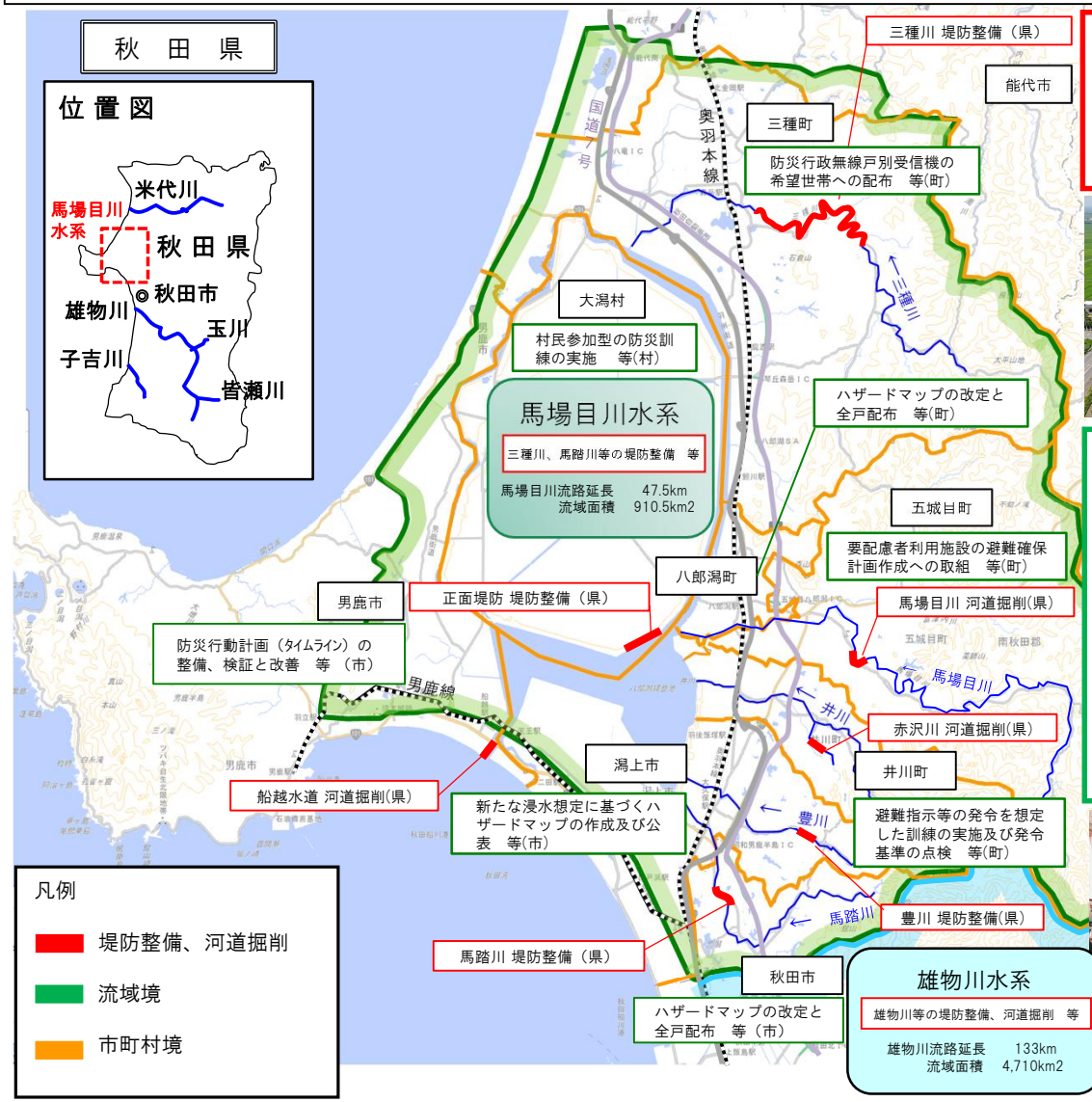
〇今回協議会において、プロジェクトの改定等はない
〇取組を継続して実施中（前回第9回協議会と同様）
〇進捗状況については、減災対策協議会で説明した
　資料6－2のとおり

馬場目川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～流域が一体となった治水対策の推進～

R3.8.30策定

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、馬場目川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施し、県管理区間においては、観測史上最大となった昭和３０年代以降に家屋浸水を発生させた洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○河川区域での対策
・堤防整備、河道掘削

○集水域での対策
・砂防関係施設の整備　・ 雨水貯留施設(田んぼダム、ため池等)の整備
・森林整備・治山対策　等





●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○氾濫域での対策
・最大規模降雨を対象とした浸水想定に基づくハザードマップの作成、公表
・防災行動計画（タイムライン）の整備と検証
・出前講座などを活用した防災教育の実施
・町内会や自主防災組織等による住民参加型の防災訓練の実施
・避難指示等の発令を想定した訓練の実施及び発令基準の点検
・水害リスクの高い箇所の合同巡視の実施
・水防訓練の充実
・排水ポンプ車の活用検討
・防災行政無線戸別受信機や防災ラジオ等の配布
・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施の促進
・避難情報に係るリアルタイムの雨量、水位情報の提供
・水位周知河川の追加指定の検討　・水害リスク空白域の解消　等





※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

馬場目川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～流域が一体となった治水対策の推進～

○馬場目川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短　　期】人家等の浸水被害を未然に防ぐため、短期間で河川の流下能力を向上することができる河道掘削等を実施するとともに、水位周知河川の追加指定の検討や要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練を実施する。

【中　　期】河道掘削及び堤防整備を計画的に実施するほか、砂防施設の整備や森林整備、治山対策を併せて進める。
また、雨水の下流域への流出を抑制するため、田んぼダム等の雨水貯留施設の整備を進めるとともに、水位周知河川以外の人家等に浸水被害が想定される河川において、簡易な手法により浸水想定区域図を作成し、水害リスク空白域の解消に努める。

【中 長 期】過去に人家等に浸水被害があった河川において堤防整備等の河川改修を推進するほか、砂防施設の整備や森林整備、治山対策を併せて進めることで、流域の治水安全度の向上を図る。
また、地域の防災意識向上を図るため、町内や自主防災組織等による住民参加型の避難訓練のほか、要配慮者利用施設における避難訓練等を継続的に実施していく。

【ロードマップ】

※スケジュールは、今後の事業進捗によって変更となる場合がある。　　※■■■■：対策実施に向けた調整・検討期間を示す。

区分	対策内容	実施主体	工程 短期 / 中期 / 中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削	県	堤防整備 / 河道掘削
	砂防関係施設の整備	県	砂防関係施設の整備
	雨水貯留施設（田んぼダム、ため池等）の整備	国・県・市町村	田んぼダム、ため池等の整備
	森林整備・治山対策	国・国研・県	植栽、間伐等の森林整備
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	最大規模降雨を対象とした浸水想定に基づくハザードマップの作成、公表	市町村	ハザードマップの作成及び公表
	防災行動計画（タイムライン）の整備と検証	県・市町村	タイムラインの整備と検証
	出前講座などを活用した防災教育の実施	県・市町村	防災教育の実施
	町内会や自主防災組織等による住民参加型の防災訓練の実施	県・市町村	住民参加型の防災訓練の実施
	避難指示等の発令を想定した訓練の実施及び発令基準の点検	市町村	発令基準の点検
	水害リスクの高い箇所の合同巡視の実施	県・市町村	合同巡視の実施
	水防訓練の充実	市町村	水防訓練の充実
	排水ポンプ車の活用検討	県	排水ポンプ車の活用検討
	防災行政無線戸別受信機や防災ラジオ等の配布	市町村	防災行政無線戸別受信機の配布
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施の促進	県・市町村	避難確保計画作成と避難訓練実施
	避難情報に係るリアルタイムの雨量、水位情報の提供	県・市町村	リアルタイムの水位情報等の提供
	水害リスク空白域の解消	国・県	水害リスク空白域の解消
	水位周知河川の追加指定の検討	県	水位周知河川追加指定の検討

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

【事業費（R3年度以降の残事業費）】

■河川対策
全体事業費　約４９億円
※県河川整備計画の残事業費を記載
対策内容　　堤防整備

馬場目川水系流域治水プロジェクト【効果】

～流域が一体となった治水対策の推進～

○馬場目川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短　　期】人家等の浸水被害を未然に防ぐため、短期間で河川の流下能力を向上することができる河道掘削等を実施するとともに、水位周知河川の追加指定の検討や要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練を実施する。

【中　　期】河道掘削及び堤防整備を計画的に実施するほか、砂防施設の整備や森林整備、治山対策を併せて進める。
また、雨水の下流域への流出を抑制するため、田んぼダム等の雨水貯留施設の整備を進めるとともに、水位周知河川以外の人家等に浸水被害が想定される河川において、簡易な手法により浸水想定区域図を作成し、水害リスク空白域の解消に努める。

【中 長 期】過去に人家等に浸水被害があった河川において堤防整備等の河川改修を推進するほか、砂防施設の整備や森林整備、治山対策を併せて進めることで、流域の治水安全度の向上を図る。
また、地域の防災意識向上を図るため、町内や自主防災組織等による住民参加型の避難訓練のほか、要配慮者利用施設における避難訓練等を継続的に実施していく。

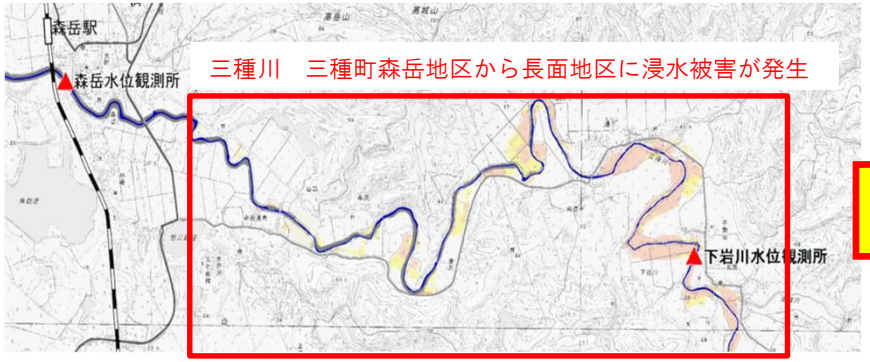
現　在



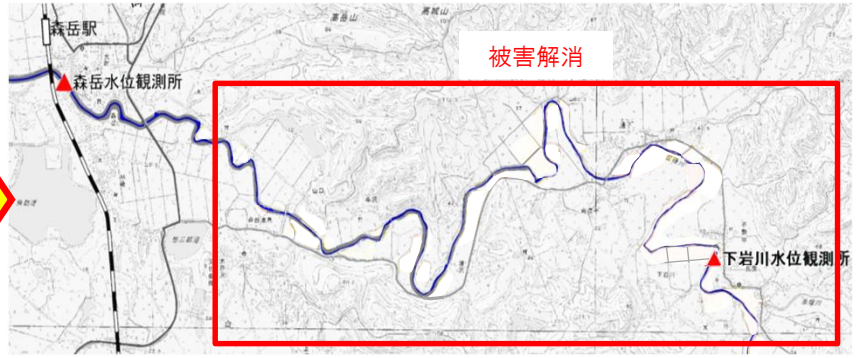
※昭和62年8月洪水　浸水被害発生範囲

整備完了後



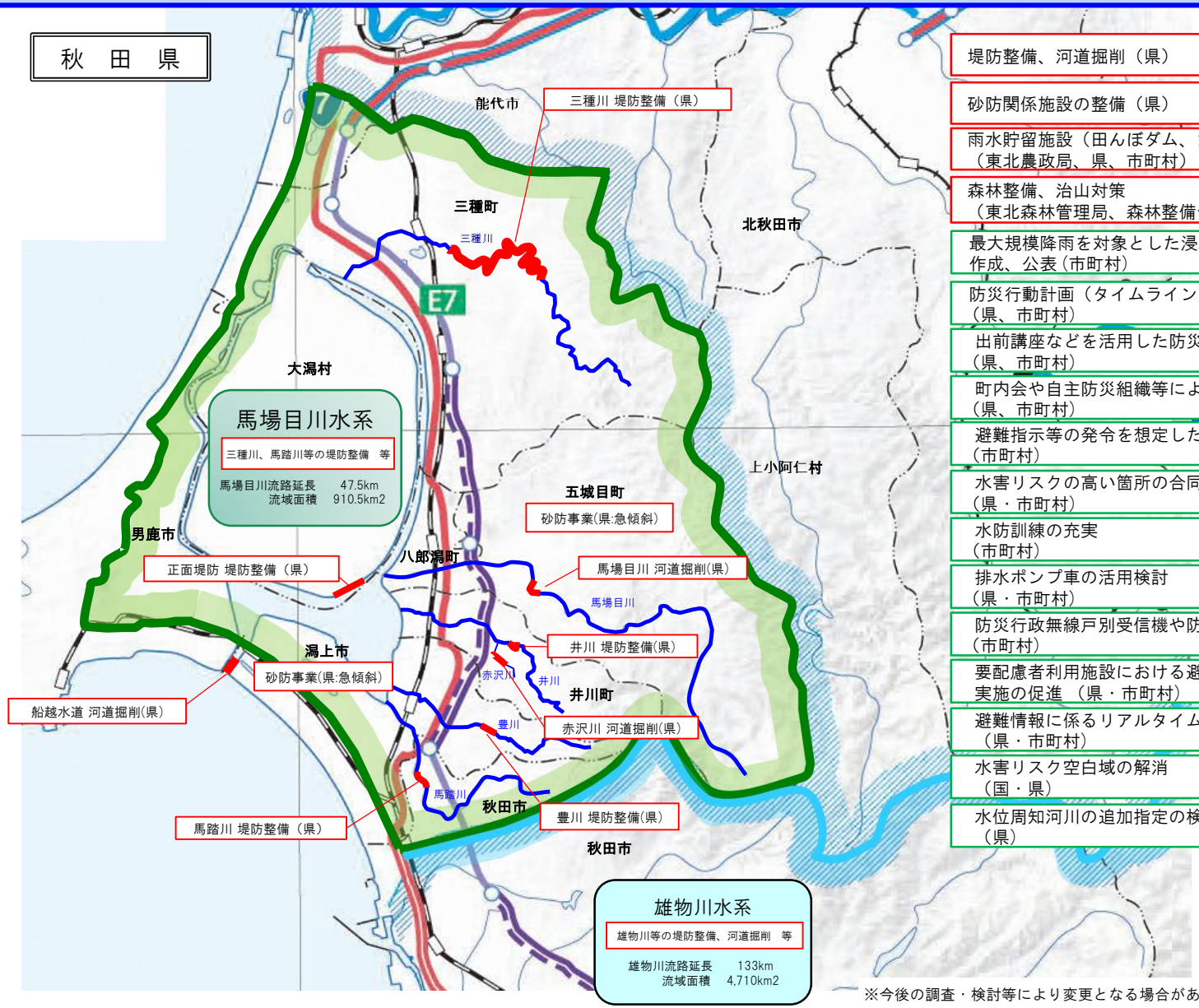


※平成25年9月洪水　浸水被害発生範囲



※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

馬場目川水系流域治水プロジェクト
【位置図（詳細版１/1）】



- 堤防整備、河道掘削（県）
- 砂防関係施設の整備（県）
- 雨水貯留施設（田んぼダム、ため池等）の整備（東北農政局、県、市町村）
- 森林整備、治山対策（東北森林管理局、森林整備センター、県）
- 最大規模降雨を対象とした浸水想定に基づくハザードマップの作成、公表（市町村）
- 防災行動計画（タイムライン）の整備と検証（県、市町村）
- 出前講座などを活用した防災教育の推進（県、市町村）
- 町内会や自主防災組織等による住民参加型の防災訓練の実施（県、市町村）
- 避難指示等の発令を想定した訓練の実施及び発令基準の点検（市町村）
- 水害リスクの高い箇所の合同巡視の実施（県・市町村）
- 水防訓練の充実（市町村）
- 排水ポンプ車の活用検討（県・市町村）
- 防災行政無線戸別受信機や防災ラジオ等の配布（市町村）
- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施の促進（県・市町村）
- 避難情報に係るリアルタイムの雨量、水位情報の提供（県・市町村）
- 水害リスク空白域の解消（国・県）
- 水位周知河川の追加指定の検討（県）

※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

プロジェクト一覧表（1／2）

主な取組メニュー	主な取り組み項目	対策メニュー	実施主体	短期 概ね5間	中期 概ね10年	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	堤防整備	県			
		河道掘削	県・市町村			
	土砂災害対策	砂防関係施設の整備	県			
	流域の雨水貯留機能の向上	雨水貯留施設（田んぼダム、ため池等）の整備	国・県・市町村			
		森林整備・治山対策	国・国研・県			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水害リスク情報の充実	最大規模降雨を対象とした洪水浸水想定区域図の作成、公表	県			
		最大規模降雨を対象とした浸水想定に基づくハザードマップの作成、公表	市町村			
		水害リスク空白域の解消	国・県			
		浸水実績の把握と周知	県・市町村			
	避難体制等の強化 （洪水時における河川管理者等からの情報提供等）	ホットラインの実施	国・県・市町村			
		防災行動計画（タイムライン）の整備と検証	県・市町村			
		避難行動の目安となる危機管理型水位計、簡易カメラの運用	県			
		水位周知河川の追加指定の検討	県			
		避難情報に係るリアルタイムの雨量、水位情報の提供	県・市町村			
		避難情報伝達手段の検証と整備	市町村			
		避難指示発令の判断、伝達マニュアルの作成・検証	市町村			
		秋田県災害情報発信システムによる雨量や水位、避難情報に係わるリアルタイム情報の提供	県・市町村			

※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

プロジェクト一覧表（2／2）

主な取組メニュー	主な取り組み項目	対策メニュー	実施主体	短期 概ね5間	中期 概ね10年	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化（避難訓練・教育の充実）	出前講座などを活用した防災教育の実施	県・市町村	■	■	■
		町内会や自主防災組織等による住民参加型の防災訓練の実施	県・市町村	■	■	■
		秋田地方気象台と連携した気象防災ワークショップの開催	県・市町村	■	■	■
		秋田県自主防災アドバイザー派遣事業による防災力・知識の向上	県・市町村	■	■	■
		避難指示等の発令を想定した訓練の実施及び発令基準の点検	県・市町村	■	■	■
	避難体制等の強化（水防体制の強化）	水害リスクの高い箇所の合同巡視の実施	県・市町村	■	■	■
		水防に関する広報の充実	市町村	■	■	■
		水防訓練の充実	市町村	■	■	■
		水防資機材等の充実	市町村	■	■	■
		水防団間での連携、協力に関する検討	県・市町村	■	■	■
		業務継続計画の作成又は更新	県・市町村	■	■	■
		市町村庁舎や災害拠点病院等への自衛水防に関する取組	市町村	■	■	■
		排水ポンプ車の活用検討	県	■	■	■
	避難体制等の強化（マスメディアと連携した情報発信）	住民参加型による防災訓練の実施 マスメディアと連携した情報発信（テレビ・ラジオ等）	国・県・市町村	■	■	■
	避難体制等の強化（早期の避難行動）	防災行政無線戸別受信機や防災ラジオ等の配布	市町村	■	■	■
	避難体制等の強化（隣接市町村における避難場所の設定等）	広域避難体制の構築	市町村	■	■	■
	避難体制等の強化（要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施）	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施の促進	県・市町村	■	■	■

※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

馬場目川水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

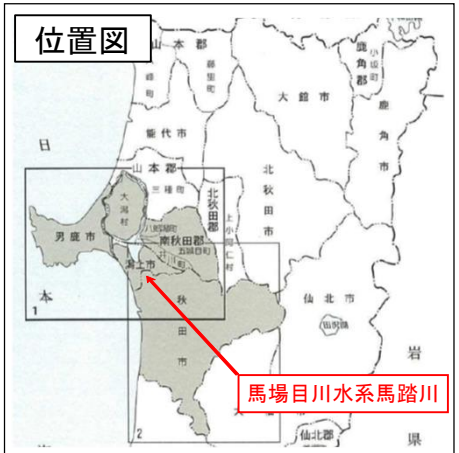
氾濫をできるだけ防ぐ対策・減らすための対策

秋田県

○堤防整備　馬踏川（秋田市）

馬踏川中流部（秋田市金足堀内地区）では、河川が蛇行し狭隘で流下能力が低い区間があり、豪雨の際には床上浸水被害等が発生していることから、河道掘削や堤防整備を計画的に実施し、治水安全度の向上を図る。

位置図

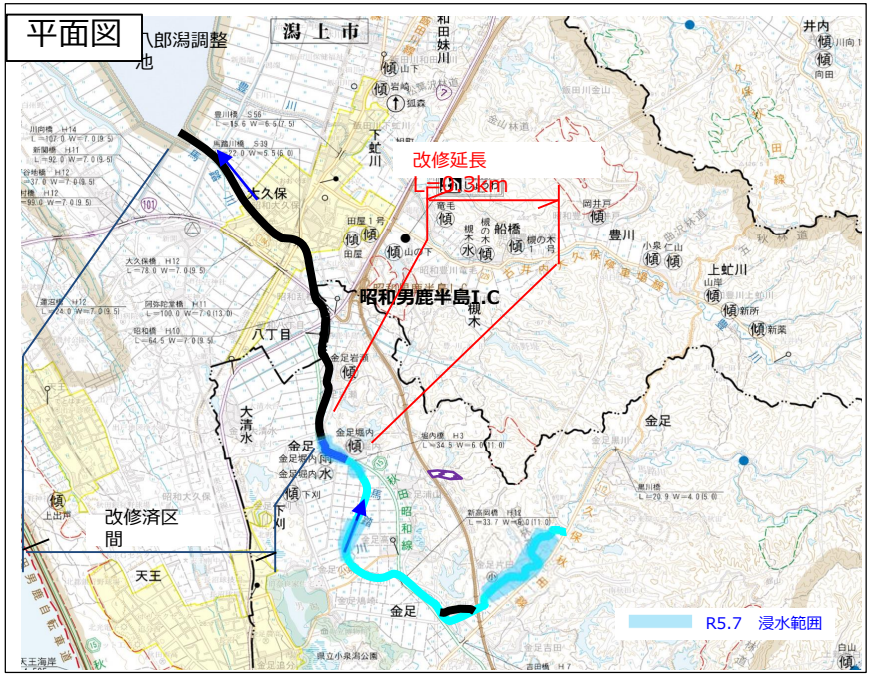


過去の被害状況

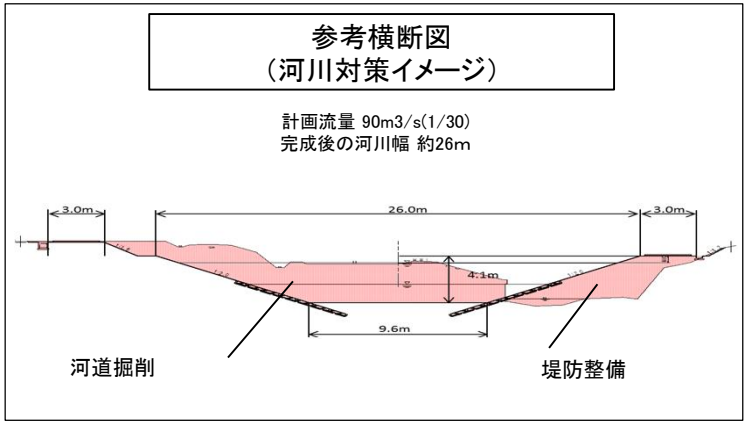




平面図



参考横断図（河川対策イメージ）







※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

氾濫をできるだけ防ぐ対策・減らすための対策

秋田県

○堤防整備　三種川（山本郡三種町）

三種川中流部（山本中学校）から上流部（長面地区）では、河川が蛇行し狭隘で流下能力が低い区間があり、豪雨の際には床上浸水被害等が発生していることから、河道掘削や堤防整備を計画的に実施し、治水安全度の向上を図る。

位置図



平面図



過去の被害状況

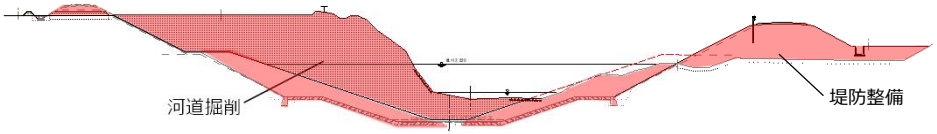




参考横断図（河川対策イメージ）

完成後の河川幅 約36m

計画流量 280m3/s(1/10)







※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

氾濫をできるだけ防ぐ対策・減らすための対策

秋田県

○河道掘削　馬場目川水系県管理河川

河川の流下能力を短期間で向上させ、洪水を安全に流す取組として、河道掘削や伐木を実施する。

■ 馬場目川　五城目町大川地区　河道掘削、伐木



対策後



■ 赤沢川　井川町赤沢地区　河道掘削、伐木



対策後



※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

氾濫をできるだけ防ぐ対策・減らすための対策

秋田県

○砂防関係施設の整備　急傾斜地崩壊対策事業（潟上市飯田川飯塚　鳥木沢工区）

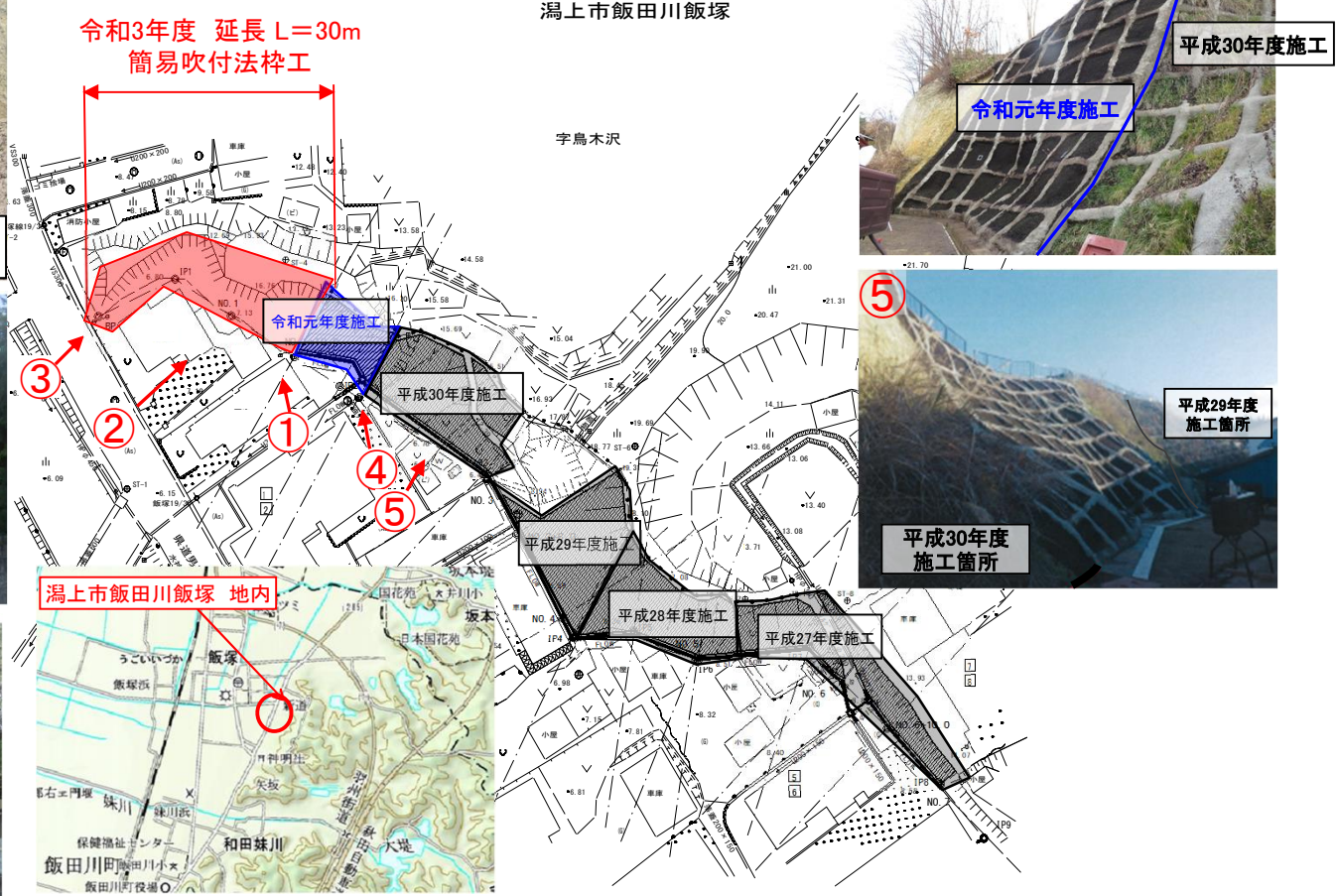
大雨や地震に伴う斜面崩壊（がけ崩れ・土砂崩れ）などから住民の生命や財産を守るため、
法面対策等を実施する。

■ 急傾斜地崩壊対策事業　潟上市飯田川飯塚　鳥木沢工区









※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

氾濫をできるだけ防ぐ対策・減らすための対策

国（東北森林管理局）
（国研）森林研究・整備機構森林整備センター
秋田県

○森林整備・治山対策

・森林整備：適切な森林整備を行うことにより、森林の水源かん養機能と土砂流出防止機能が向上し、馬場目川の流域治水を促進します。
・路網整備：森林整備を促進するための基盤となる路網整備を行います。
・治　　山：渓間工、山腹工、地すべり防止工等を実施し、崩壊地の復旧や流出土砂の抑制などにより、馬場目川の流域治水を促進します。

森林整備のイメージ


植栽


下刈


間伐

路網整備のイメージ


林道


林業専用道


森林作業道

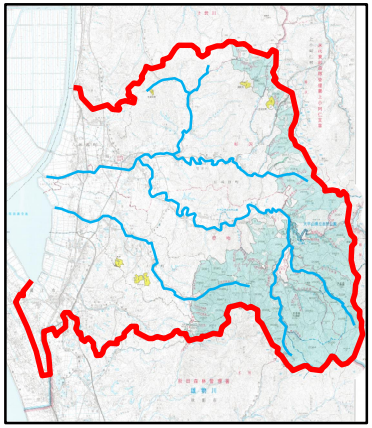
治山のイメージ


渓間工

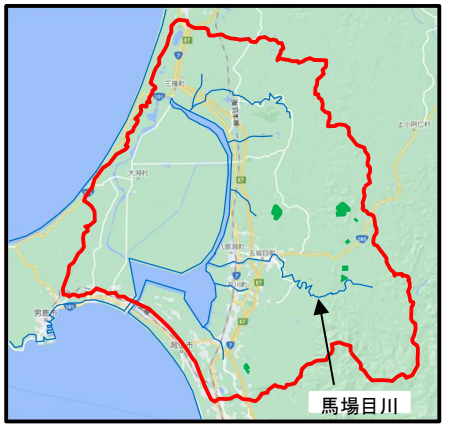

山腹工


地すべり防止工

東北森林管理局の整備区域
国有林（図の赤枠内緑色部分）



森林研究・整備機構森林整備センターの整備区域
水源林造成事業地（図の赤枠内緑部分）



＊水源林造成事業地
奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所

秋田県の整備区域：民有林全域

＊路網整備（林道、林業専用道）と治山は事業主体として整備します。
森林整備（森林作業道を含む）は、適切な取組に対して、森林環境保全整備事業により支援します。

※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

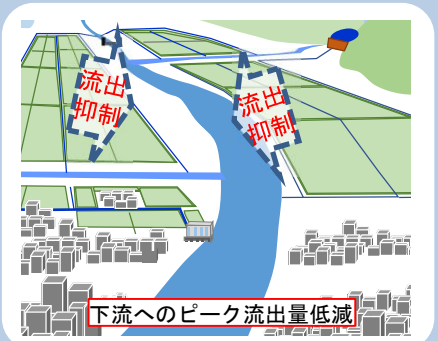
氾濫をできるだけ防ぐ対策・減らすための対策

東北農政局、秋田県

○雨水貯留施設（田んぼダム、ため池等）の整備

・田んぼダム：水田の排水口への堰板の設置等による流出抑制によって下流域の湛水被害リスクを低減
　　農業者が地域共同で取り組む「田んぼダム」の取組を農林水産省の多面的機能支払交付金により支援
・た　め　池　：農業用ため池が有する洪水調節機能の活用

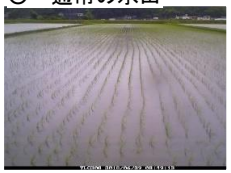
田んぼダムイメージ



下流に守るべき市街地等がある水田地帯で実施（農業者の協力必須）

福岡県における田んぼダムの現地実証の事例

○　通常の水田



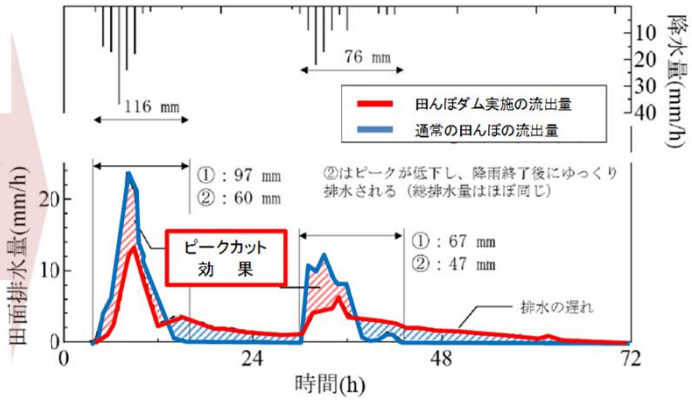


○　田んぼダムに取り組む水田





水田からの雨水流出のピークをカット



（参考）水田の整備

農業競争力強化を図るため、担い手への農地集積・集約化に向け、水田を整形・大区画化　※　**田んぼダムの取組の基盤ともなる**

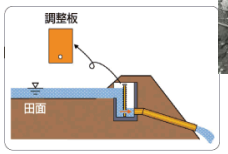


多面的機能支払交付金を活用した事例（栃木県小山市）

田んぼダムの取組により、豪雨時の水田からの流出量を抑制











※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

馬場目川水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

被害軽減、早期復旧、復興のための対策

秋田県・市町村

○ホットラインの実施

■伝達内容およびタイミング

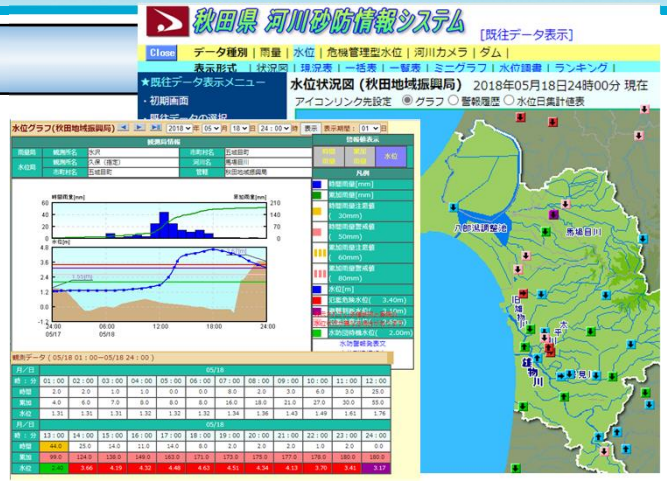
○タイミング

レベル３　避難判断水位到達（氾濫警戒情報発表）時・・・高齢者等避難の発令判断の目安

レベル４　氾濫危険水位到達（氾濫危険情報発表）時・・・避難指示の発令判断の目安

○伝達内容

現在の水位状況と水位上昇の見込み



○ リアルタイムの雨量、水位情報の提供
秋田県河川砂防情報システム

■ホットラインの流れ

※土砂災害警戒情報の伝達方法を準用

地域振興局建設部長

①氾濫警戒情報等FAX送信

②FAX着信確認
水位を伝達
市町村長へ情報伝達を依頼
（併せて伝達時刻と伝達者名報告依頼）

④市町村長への伝達時刻と伝達者を連絡

⑤振興局はFAX送信様式に④を記録

【記録例（赤字）】

市長等への伝達	伝達時刻	伝達者名→市長等名
	22:40	○○ → ○○市長

市町村防災担当部局長

③氾濫警戒情報等の伝達

市町村長（不在時は副市長）

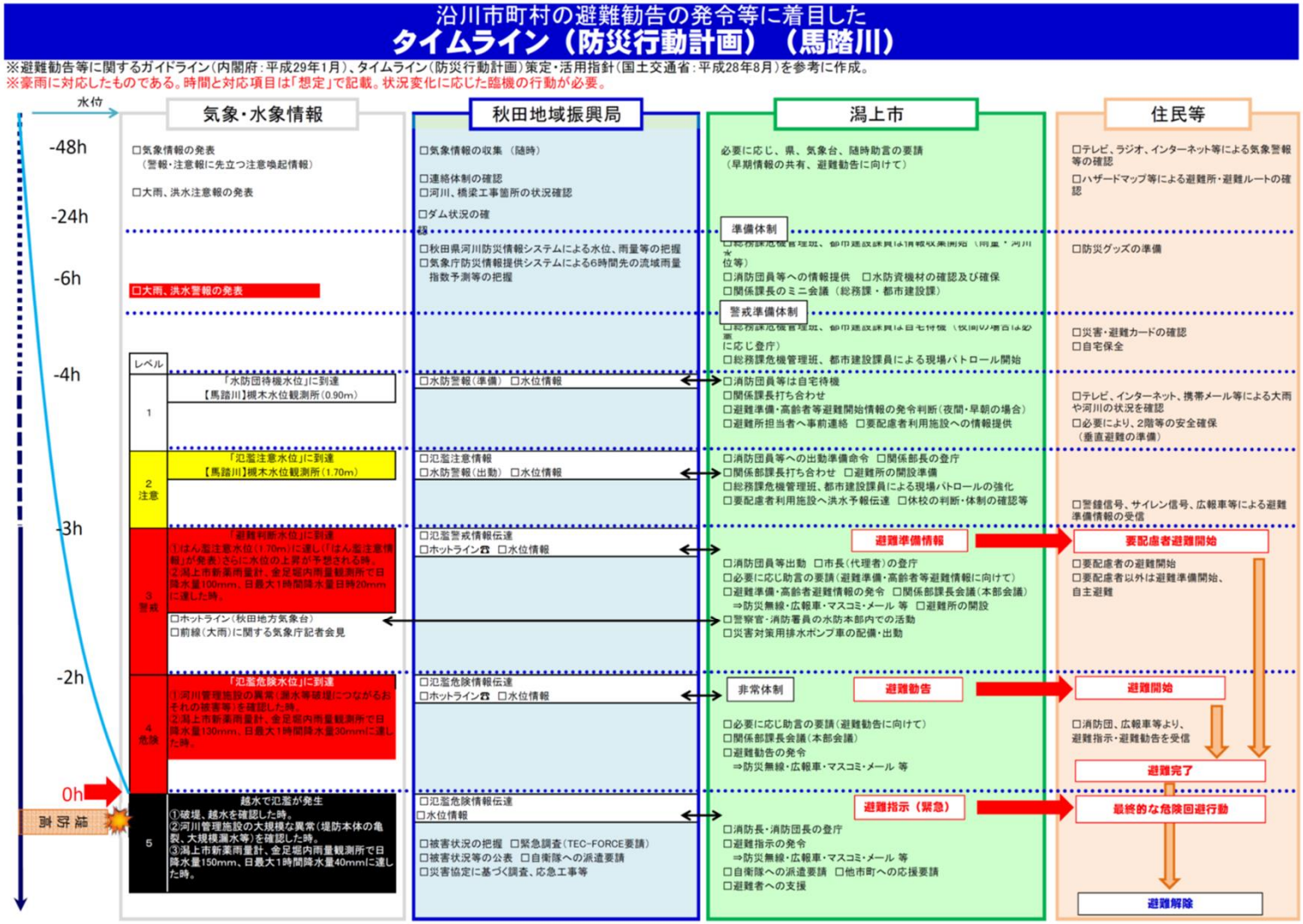
※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

被害軽減、早期復旧、復興のための対策

秋田県・市町村

○防災行動計画（タイムライン）の整備と検証

関係機関と地域住民が取るべき防災行動や災害対応の充実を図るため、実際に取った防災行動をもとにタイムラインの検証（振り返り）を行い、必要に応じてタイムラインを改善する。



※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

被害軽減、早期復旧、復興のための対策

秋田県

○避難行動の目安となる危機管理型水位計及び河川監視カメラの運用

洪水時における避難情報の発令や地域住民の的確な避難を促すよう、従来型水位計に加え、危機管理型水位計及び河川監視カメラを設置し、リアルタイムの水位、河川状況画像、雨量情報をインターネットに公表、情報提供を図る。

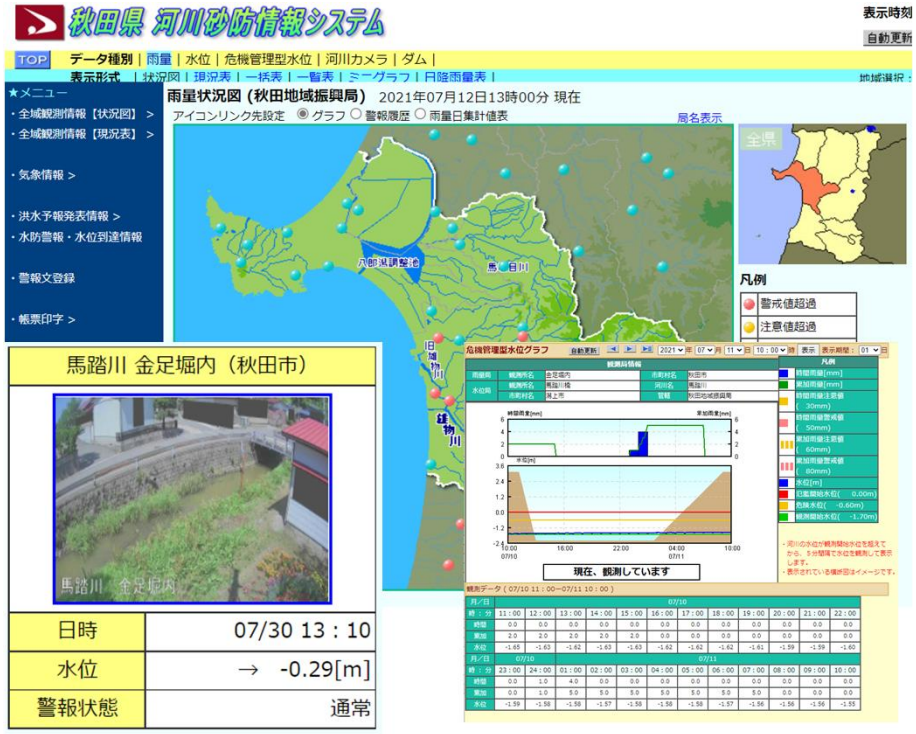
※秋田県河川砂防情報システム
ＵＲＬ：http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/

名称	河川数	基数	運用開始
水位計（従来型）	6河川	7基	－
水位計（危機管理型）	14河川	18基	平成31年4月
河川監視カメラ	3河川	4基	令和2年4月

河川監視カメラ設置状況
（馬場目川　五城目町馬場目中屋敷地区　中屋敷橋）



秋田県河川砂防情報システムによるリアルタイム情報の提供



※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

被害軽減、早期復旧、復興のための対策

秋田県

○秋田県災害情報発信システム等による雨量や水位、避難情報などの提供（秋田県総合防災課）

【秋田県災害情報発信システム】（令和２年４月より運用開始）
　県・市町村職員が投稿した道路の冠水被害や河川水位の状況などの災害情報を、秋田県防災ポータルサイトへ発信するシステム。住民が災害情報等を得ることができ、県や市町村でもその情報を共有できる。

【秋田県情報集約配信システム】（平成２５年１０月より運用開始）
　市町村が入力した避難指示等の情報を、Ｌアラートへ情報配信するシステム。Ｌアラートに配信した情報は、ＮＨＫデータ放送、Yahoo!Japan、防災情報アプリ等を通じて広く情報発信される。

■ 秋田県災害情報発信システムによる情報発信



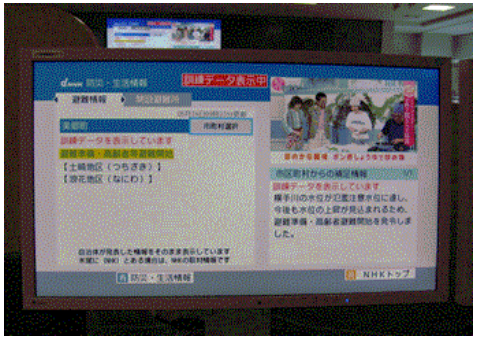
秋田県防災ポータルサイト上の表示

地図上のアイコンをクリック

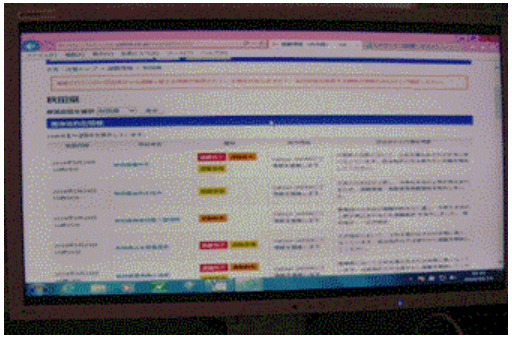


被害発生場所の状況を確認可能

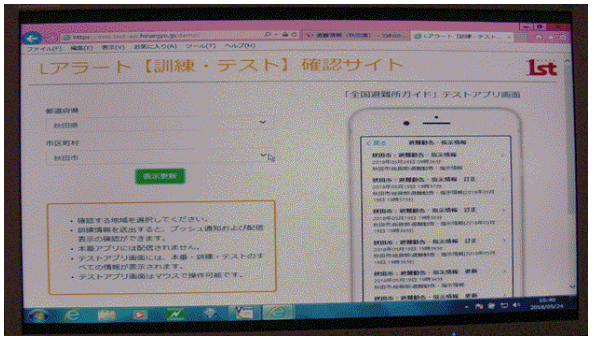
■ Ｌアラートによる情報発信



NHKデータ放送による情報伝達



Yahoo! Japan　避難情報による情報伝達



防災情報アプリ「全国避難所ガイド」による情報伝達

※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

被害軽減、早期復旧、復興のための対策

秋田県・市町村

○町内会や自主防災組織等による住民参加型の防災訓練の実施

実践的な防災訓練を実施し、災害に対する避難体制の強化と防災意識の向上を図る。

■各市町村の取り組み事例


秋田市


潟上市



三種町


五城目町


井川町


大潟村

※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

被害軽減、早期復旧、復興のための対策

秋田県

○秋田地方気象台と連携した気象防災ワークショップの開催

○気象防災ワークショップでは、洪水災害あるいは土砂災害が発生するおそれのある状況下で、気象台が発表する様々な情報を参照しながら少人数でのグループワークを行い、地方公共団体での防災対応を疑似体験していただきました。ワークショップを通じて、各種の防災気象情報を理解し、有効活用するとともに、体制の強化や避難勧告の発令のタイミングなどを検討することによって、判断のポイントを学ぶことができます。今後も県内市町村の防災担当者に広く参加していただき、防災対応力の向上を目指します。

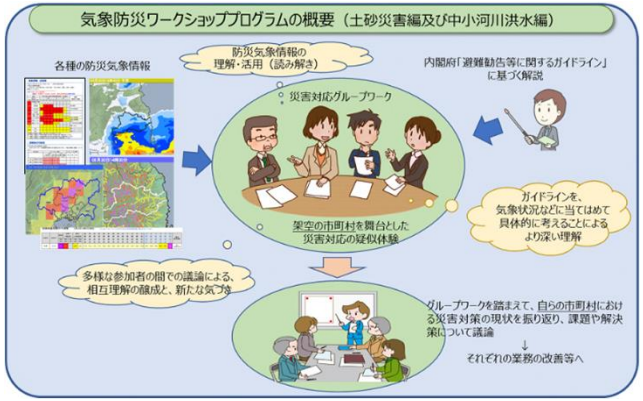
○地方公共団体等の防災対策協力・支援として、引き続き気象防災ワークショップ実施し、現場担当者の防災対応力の向上を目指します。

■これまでの取組み実績

・R４年６月27日
　秋田県庁で開催。19市町村6地域振興局37名が参加（土砂災害編）
・R５年６月27日
　秋田県庁で開催。15市町村7地域振興局35名が参加（土砂災害編）
・R６年６月４日
　秋田県庁で開催。19市町村5地域振興局34名が参加（風水害編）

■令和７年度取組み状況

・R７年５月19日
　秋田県庁（災害対策本部）で開催。
　13市町村5地域振興局24名が参加（風水害編）







※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

被害軽減、早期復旧、復興のための対策

秋田県

○秋田県防災アドバイザー派遣事業による防災力・知識の向上（秋田県総合防災課）

地域の実情に応じた自主防災組織の結成促進や活動活性化を支援するため、秋田県防災士会と連携し、防災士を「秋田県防災アドバイザー」（以下「アドバイザー」という。）として派遣するなど、地域できめ細かなアドバイスを行うことにより、地域防災力の向上を図る。

1　アドバイザーの業務
- 自主防災組織の運営に関すること。
- 日常的な防災活動に関すること。
- 災害対応力の向上に関すること。
- 防災知識の普及及び啓発に関すること。
- ハザードマップの周知、「マイ・タイムライン」の普及啓発等
- 地区防災計画の策定支援

2　令和7年度の実施状況
派遣回数：33回（令和8年1月末現在　予定も含む）

○　内容
- 防災意識の普及啓発　・自主防災組織の運営・活動
- 避難誘導・救助　・要援護者への対応
- DIG（災害図上訓練）、HUG（避難所運営ゲーム）
- 「マイ・タイムライン」の作成　など

【参考】これまでの実績
- 令和5年度派遣回数：58回
- 令和6年度派遣回数：32回



防災士による講演状況



防災備蓄食料品取扱訓練状況

※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

被害軽減、早期復旧、復興のための対策

国・秋田県

○マスメディアと連携した情報発信

水害・土砂災害情報等について、テレビや新聞、ラジオ等のそれぞれが有する特性を活かし、地域住民の避難行動につなげるための情報共有、意見交換を行う。

○概要

＜日時・場所＞　日時：令和2年8月5日（水）　13:30～15:30　場所：秋田河川国道事務所

＜メンバー＞

メディア：17社（テレビ：7、ラジオ：6、新聞：4）

行政：秋田県、秋田地方気象台、東北地方整備局水災害予報センター、秋田県内各事務所

＜意見交換＞

・報道事例「命を守るよびかけ」について

・河川カメラの映像提供の体制について

・専門家の会見情報の共有について（気象台と整備局の合同会見）



協議会開催状況



意見交換の状況



本局、県内事務所とのWEB会議

※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

被害軽減、早期復旧、復興のための対策

秋田県・市町村

○防災行政無線戸別受信機や防災ラジオ等の配布

住民の主体的避難を促すため、防災行政無線戸別受信機や防災ラジオ等を配布する。



【取組事例】三種町



※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

被害軽減、早期復旧、復興のための対策

秋田県・市町村

○要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施の促進

要配慮者利用施設における避難体制の強化を図るため、水防法及び土砂災害防止法が平成29年6月19日に改正され、洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設の管理者等は、避難確保計画の作成と避難訓練の実施が義務となった。

※市町村地域防災計画にその名称及び所在地が定められた施設が対象

洪水・土砂災害からの「逃げ遅れゼロ」を目指し、平成30年から**講習会プロジェクトを継続して実施**

○令和２年度の講習会プロジェクト

・三種町（ R2.12.22 ）、小坂町（ R2.12.23 ）で実施





○令和３年度の講習会プロジェクト

五城目町、上小阿仁村

※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

市町村等の実情に応じた取組（案）

➢ 地域の特性等を踏まえた各種減災対策を推進

秋田市

■被害軽減、早期復旧、復興のための対策

土地の水害リスク情報の充実
・ハザードマップの改定と全戸配布

避難体制の強化（避難訓練・教育の充実）
・地域への防災研修などの実施

男鹿市

■被害軽減、早期復旧、復興のための対策

避難体制等の強化（洪水時における河川管理者等からの情報提供等）
・防災行動計画(タイムライン）の整備、検証と改善

避難体制の強化（要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施）
・要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施の促進

潟上市

■被害軽減、早期復旧、復興のための対策

土地の水害リスク情報の充実
・新たな浸水想定に基づくハザードマップの作成及び公表

避難体制の強化（避難訓練・教育の充実）
・地域全体の防災力向上を図るための町内や自主防災組織等の住民参加型による防災訓練の実施

避難体制の強化（要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施）
・要配慮者利用施設による避難計画の作成及び避難訓練の実施の促進

三種町

■被害軽減、早期復旧、復興のための対策

避難体制等の強化（早期の避難行動）
・防災行政無線戸別受信機の希望世帯へ配布

避難体制の強化（避難訓練・教育の充実）
・地域全体の防災力向上を図るための自主防災組織の設置促進

避難体制の強化（要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施）
・要配慮者利用施設における避難確保計画の全施設策定

※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

市町村等の実情に応じた取組（案）

➢ 地域の特性等を踏まえた各種減災対策を推進

五城目町

■被害軽減、早期復旧、復興のための対策

避難体制の強化（要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施）
・要配慮者利用施設の避難確保計画作成への取組

避難体制の強化（避難訓練・教育の充実）
・住民参加による防災訓練の実施
・小中学校等における防災教育や地域における出前講座等を活用した説明会の開催

八郎潟町

■被害軽減、早期復旧、復興のための対策

土地の水害リスク情報の充実
・ハザードマップの改定と全戸配布

避難体制の強化（水防体制の強化）
・関係機関と水防団との重要水防箇所の合同巡視
・関係機関との水防訓練の合同実施

井川町

■被害軽減、早期復旧、復興のための対策

土地の水害リスク情報の充実
・ハザードマップの改定と全戸配布

避難体制の強化（避難訓練・教育の充実）
・自主防災組織による防災訓練への補助金による支援
・避難指示等の発令を想定した訓練の実施及び発令基準の点検

大潟村

■被害軽減、早期復旧、復興のための対策

避難体制の強化（避難訓練・教育の充実）
・村民参加型の防災訓練の実施

避難体制等の強化（早期の避難行動）
・全戸配布した防災行政無線個別受信機によるリアルタイム情報の提供

※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

資料ー４－２

馬場目川水系
水災害対策プロジェクトについて

令和5年11月30日策定
令和6年　4月　4日更新

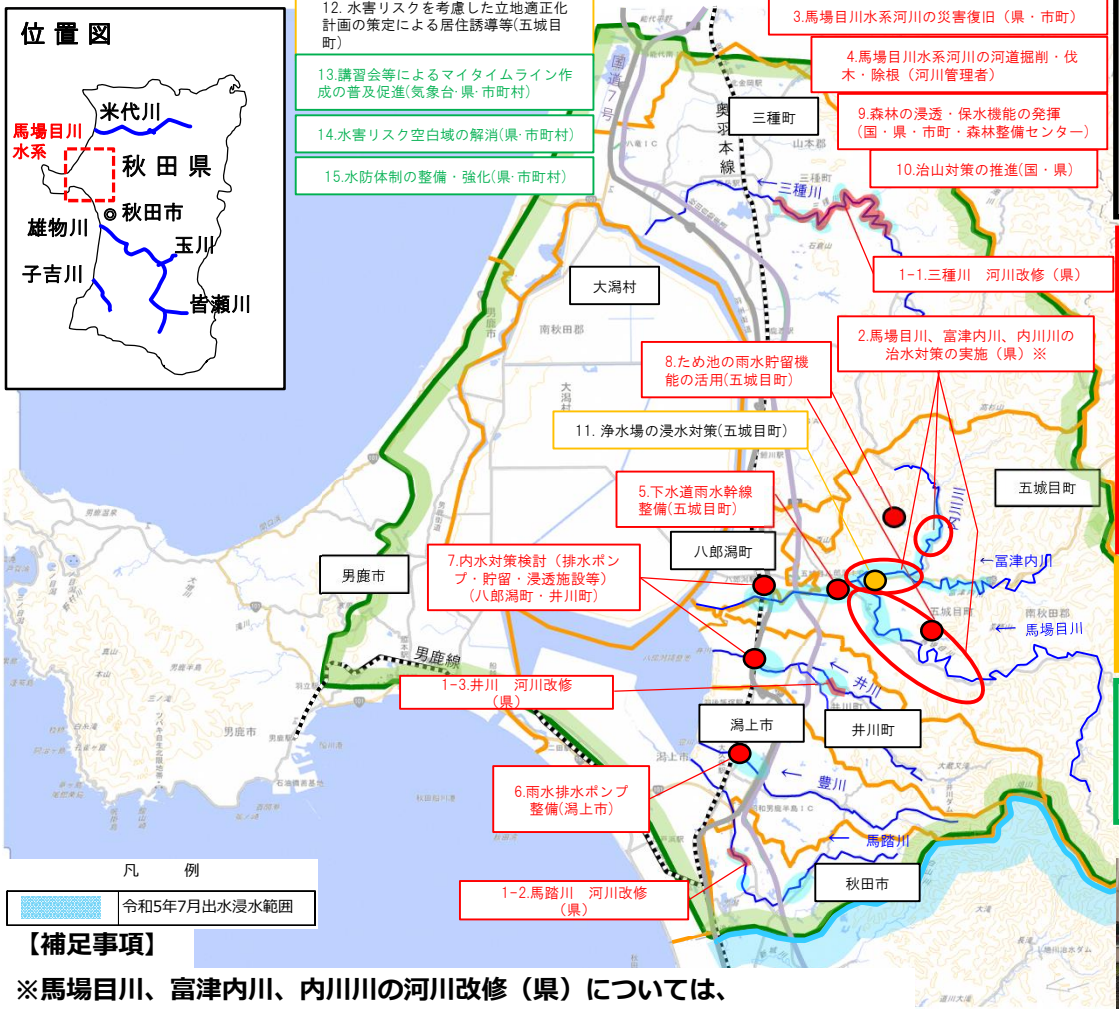
〇雄物川下流圏域分科会において計画を策定・改定
〇今回の協議会において、プロジェクトの改定等はない
〇取組を継続して実施中
〇主な取組の進捗状況については、資料ー４－３のとおり

馬場目川水系　水災害対策プロジェクト

～流域のあらゆる関係者が一体となった、安全で安心が確保できる治水対策の推進～

R6.4.4更新

○ 令和５年７月１５日からの大雨により、馬場目川、内川川など、水系内の５河川で氾濫が発生した。特に馬場目川では過去最高水位を観測したほか、富津内川・内川川では令和４年８月豪雨に続き２年連続で浸水被害が発生した。このため馬場目川流域では、県、市町村が連携し、「馬場目川水系水災害対策プロジェクト」を策定。早急に浸水被害の軽減を図るため、以下の取組を推進していく。併せて被害軽減に向けて浸水対策の検討は引き続き行っていく。



【補足事項】

※馬場目川、富津内川、内川川の河川改修（県）については、
河道掘削、輪中堤、捷水路等の具体的な対策を河川整備計画に位置づけた
上で、取組を推進。

■事業期間　令和5年度～令和14年度
■事 業 費　今後、各河川の河川整備計画を順次策定しながら確定
※令和5年度の補正予算及び防災・減災対策等強化事業推進費、
災害復旧事業費により配分した予算：約２８億円
【県：２５．１億円、市町：３．３億円】
■目標　令和5年7月と同規模の大雨による浸水被害を軽減
・具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
○河川区域での対策
1.三種川、馬踏川、井川の河川改修（県）
2.馬場目川、富津内川、内川川の治水対策の実施（県）※
3.馬場目川水系河川の災害復旧（県・市町）
4.馬場目川水系河川の河道掘削・伐木・除根（河川管理者）
○集水域での対策
5.下水道施設雨水幹線の整備（五城目町）
6.雨水排水ポンプの整備（潟上市）
7.市街地の内水対策検討(排水ポンプ、貯留・浸透施設等)(八郎潟町・井川町)
8.ため池の雨水貯留機能の活用（五城目町）
9.森林の浸透・保水機能の発揮（国・県・市町・森林整備センター）
10.治山対策の推進（国・県）

■被害対象を減少させるための対策
○氾濫域での対策
11.浄水場の浸水対策（五城目町）
12.水害リスクを考慮した立地適正化計画の策定による居住誘導等（五城目町）

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
○氾濫域での対策
13.講習会等によるマイタイムライン作成の普及促進(気象台･県･市町村)
14.水害リスク空白域の解消（県・市町村）
15.水防体制の整備・強化（県・市町村）

令和５年7月大雨による被害状況


三種川沿川の家屋浸水(下岩川長面地区)


内川川の氾濫(内川湯ノ又地区)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

馬場目川水系
水災害対策プロジェクト

１－１．三種川の河川改修【県】

・三種川中流部（山本中学校）から上流部（長面地区）では、河川が蛇行し狭隘で流下能力が低い区間があり、豪雨の際には床上浸水被害等が発生していることから、河道掘削や堤防整備を計画的に実施し、治水安全度の向上を図ります。
【治水安全度】現況１／５　⇒　整備後１／１０

位置図



平面図

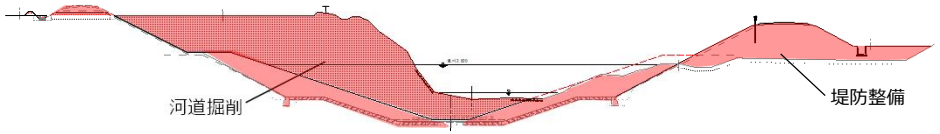


【事業概要】
事業内容：河道掘削、堤防整備
事業期間：Ｒ５～Ｒ１６
施行地　：三種町

うち、
【防災・減災対策等強化事業推進費】
事業期間：Ｒ５
事業費　：２億円
施行地　：三種町
改修延長：０．２ｋｍ
【R5補正（防災・安全交付金）】
事業費　：３.３億円（想定）
施工地　：三種町
改修延長：０．４ｋｍ
実施内容：護岸工
樋門設計(Ｎ＝２基)

参考横断図（河川対策イメージ）

完成後の河川幅 約36m



出水による被害状況


浸水状況（長面地区）
令和5年7月


浸水状況（長面地区）
令和4年8月


氾濫状況（長面地区宮橋左岸）
平成25年9月

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

馬場目川水系
水災害対策プロジェクト

１－２．馬踏川の河川改修【県】

・馬踏川流域では、過去に頻繁に浸水被害が発生しており、昭和６０年の豪雨では浸水家屋戸数が、２４６戸にも上りました。また、令和５年７月豪雨でも浸水被害が確認されたため、堀内１号橋上流約０．３ｋｍの未整備区間の、河道掘削や堤防整備を計画的に行い、治水安全度の向上を図ります。　【治水安全度】現況：未改修　⇒　１／３０

位置図

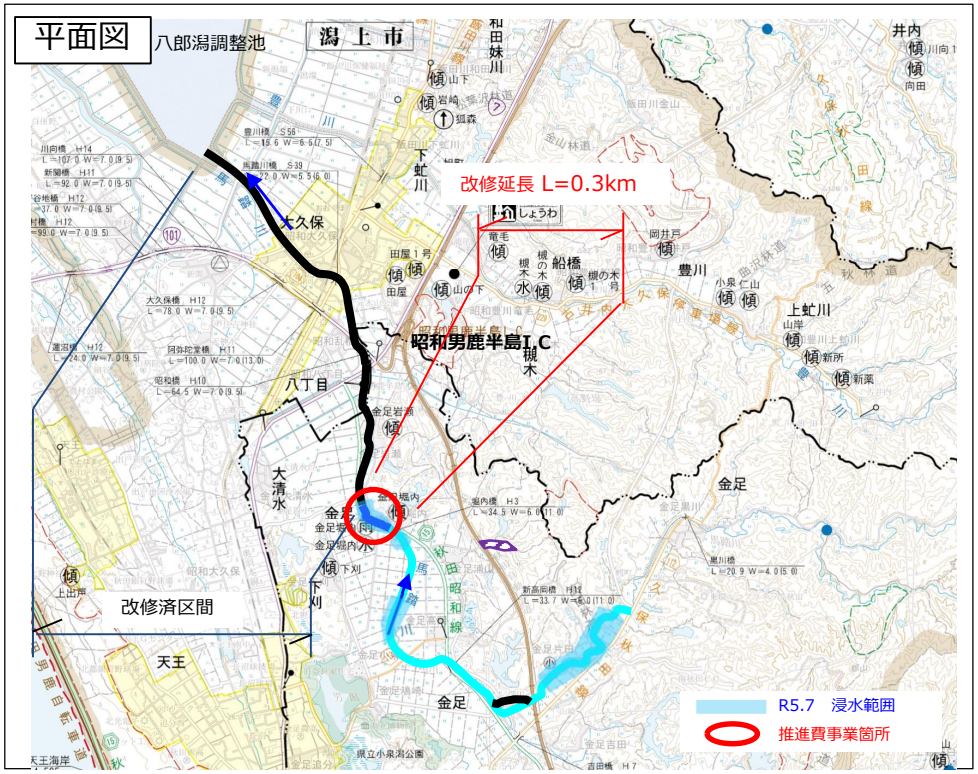


【事業概要】
事業内容：河道掘削、堤防整備等
事業期間：Ｒ５～Ｒ９
施行地　：潟上市、秋田市

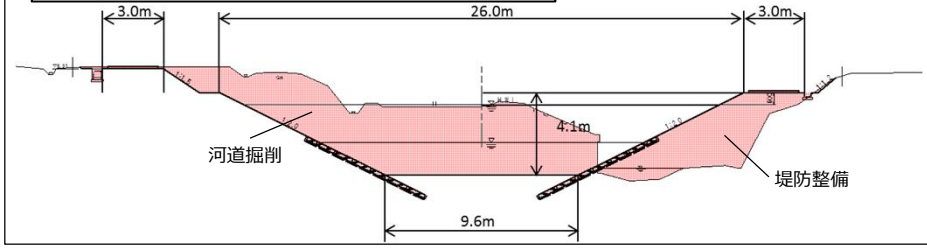
うち、
防災・減災対策等強化事業推進費
事業期間：Ｒ５
事業費　：２．５億円
施行地　：秋田市
改修延長：０．３ｋｍ

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

平面図



参考横断図（河川対策イメージ）



出水による被害状況





氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

１－３．井川の河川改修【県】

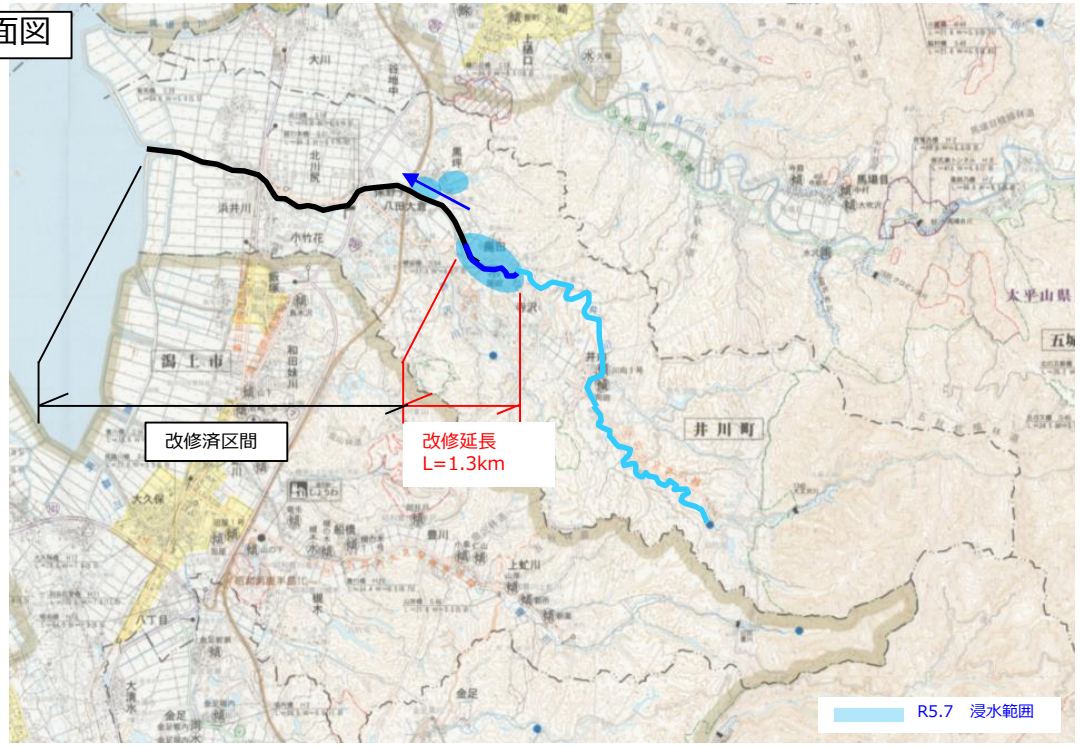
・井川は、未改修区間である上流の天神橋から中の目橋の間に家屋連担地区があり、令和５年７月豪雨では家屋浸水が確認されました。上記区間について早期に河道掘削や護岸工事を行い、治水安全度の向上を図ります。
【治水安全度】現況：未改修　⇒　１／１０

位置図



【事業概要】
事業内容：河道掘削等
事業期間：Ｒ５～
施行地　：井川町

平面図



R5.7月被害状況







具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

更新

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

馬場目川水系
水災害対策プロジェクト

2．馬場目川、富津内川、内川川の治水対策の実施【県】

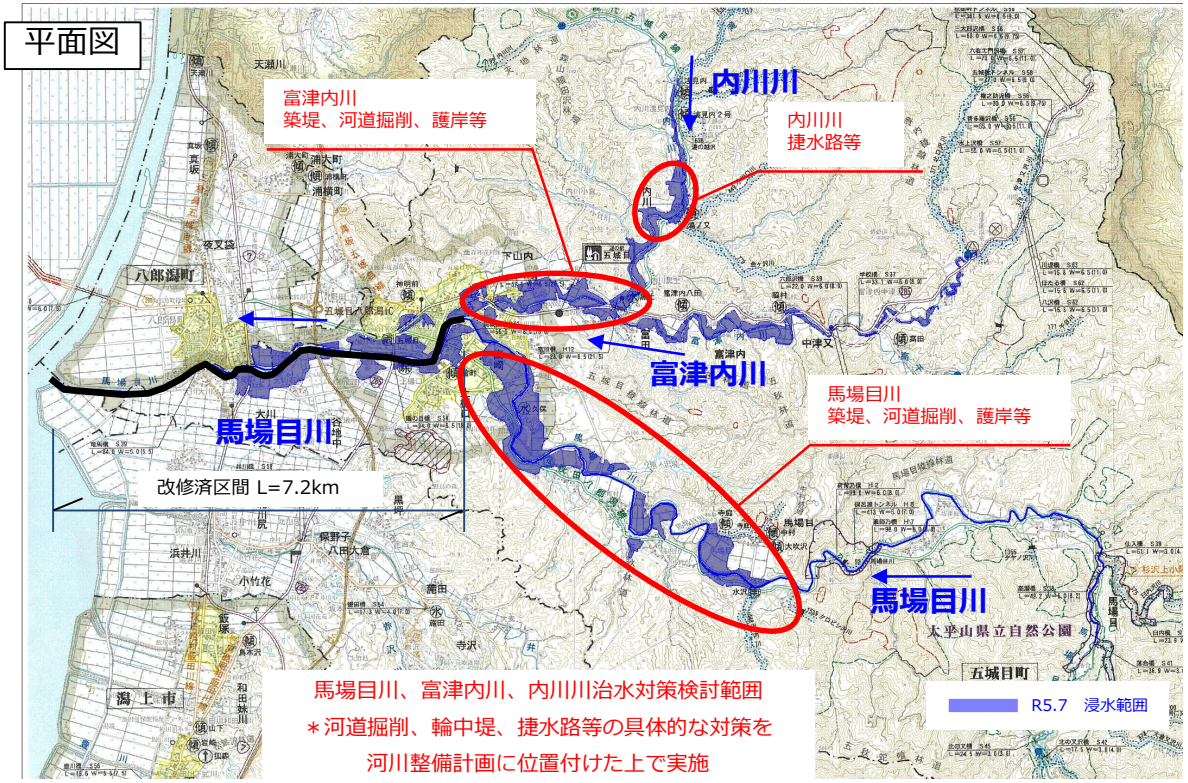
・令和５年７月豪雨により、馬場目川、富津内川、内川川では河川が氾濫し、多くの家屋浸水が発生しました。富津内川、内川川では令和４年８月豪雨に続き２年連続の被災となり、早急に河川改修を行い、家屋浸水の解消を図ります。

位置図



【事業概要】
事業内容：河道掘削、輪中堤、捷水路等の具体的な対策を河川整備計画に位置付けた上で実施
事業期間：Ｒ５～
施行地　：五城目町

平面図



出水による被害状況







具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

追加

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

馬場目川水系
水災害対策プロジェクト

3. 馬場目川水系河川の災害復旧【県・潟上市・井川町・五城目町】

・令和５年７月１５日からの大雨により、被災した河川施設の復旧工事を行います。

【事業概要】
事業内容：護岸、根固等
事業期間：R５～R６
事業費　：２０．６億円
　うち　県　１７．３億円
　　市町　３．３億円
　　（災害復旧事業）
施行地　：五城目町ほか

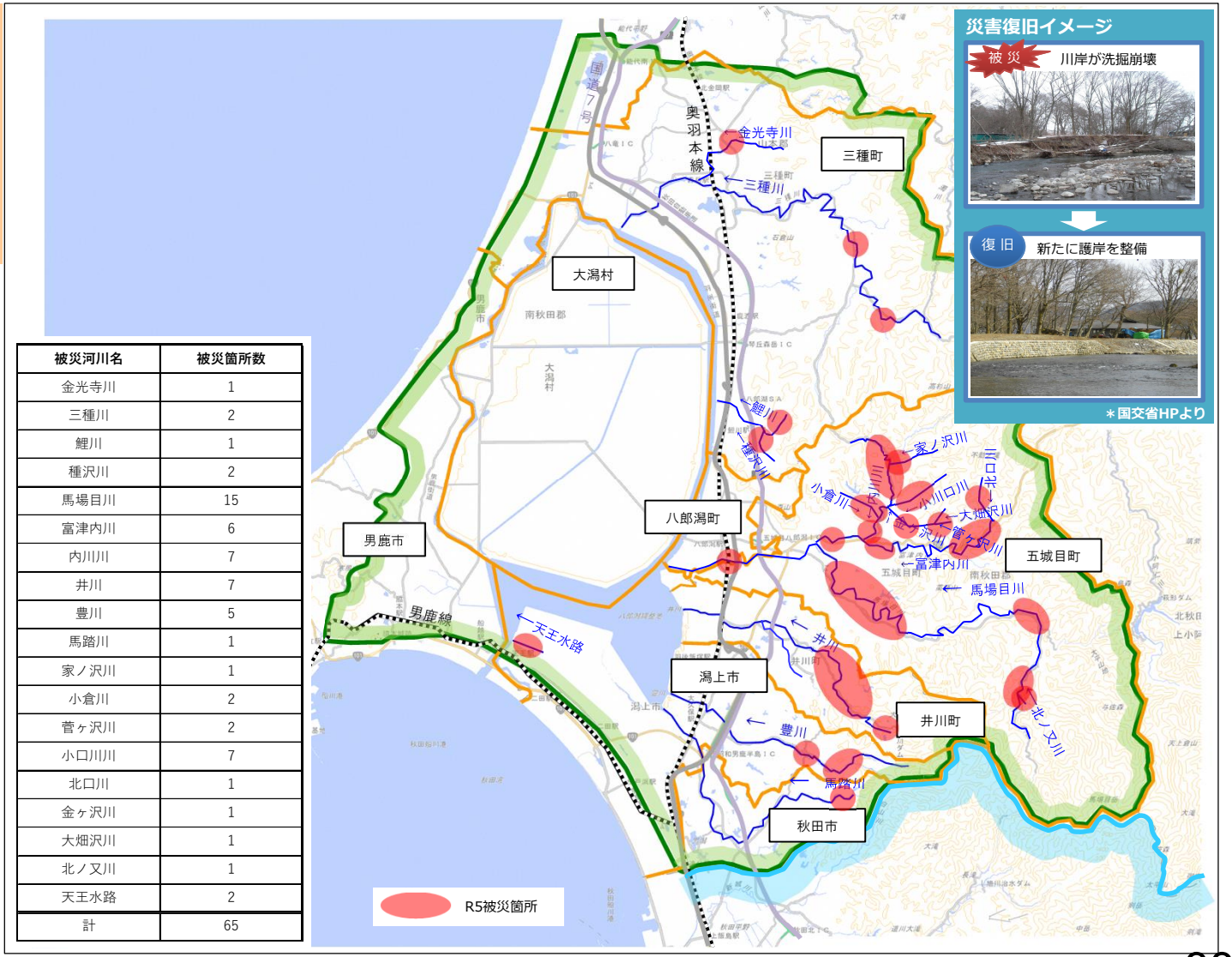
馬場目川被災状況



井川被災状況



被災河川名	被災箇所数
金光寺川	1
三種川	2
鯉川	1
種沢川	2
馬場目川	15
富津内川	6
内川川	7
井川	7
豊川	5
馬踏川	1
家ノ沢川	1
小倉川	2
菅ヶ沢川	2
小口川川	7
北口川	1
金ヶ沢川	1
大畑沢川	1
北ノ又川	1
天王水路	2
計	65



具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

5．下水道施設雨水幹線の整備【五城目町】

・内水浸水の被害減少のための、雨水管きょを整備します。
・下水道雨水計画区域内で、令和５年７月の大雨により浸水被害を受けた住宅密集地域を重点的に整備します。

位置図



【事業概要】
事業内容：雨水幹線整備
事業期間：Ｒ５～
施行地　：五城目町

令和５年７月大雨による内水浸水状況





具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

馬場目川水系
水災害対策プロジェクト

6．雨水排水ポンプの整備【潟上市】

・浸水被害を解消、軽減するため、可搬式排水ポンプの導入を進めます。
　※内水被害が頻発する2級河川豊川及び馬踏川の堤内地等での使用を想定しています。
・導入年度（予定）　令和６年度～　（検討はR5から開始）

【事業概要】
事業内容：可搬式排水ポンプ導入
事業期間：Ｒ５～Ｒ８
施行地　：潟上市

内水被害状況〔令和５年７月豪雨 2級河川豊川〕



写真A 内水被害状況

飯田川下虻川字城ノ後地区
R5.7.15(土)15:00撮影

写真B 内水被害状況



飯田川下虻川字城ノ後地区
R5.7.15(土)15:00撮影

凡 例

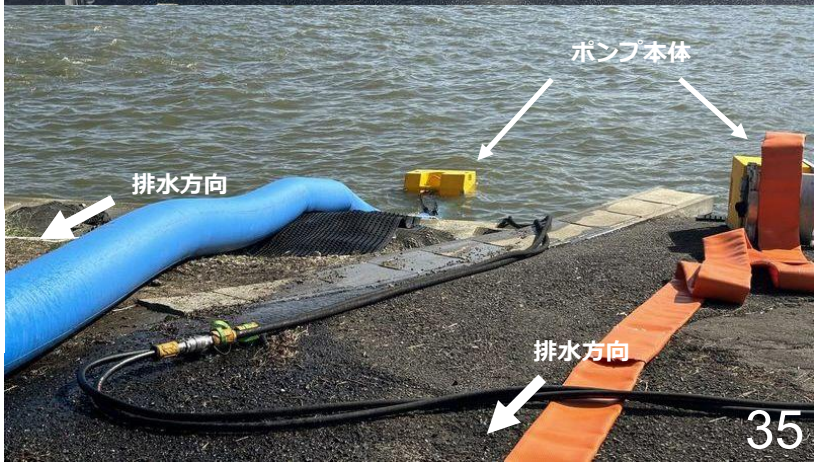
内水被害範囲

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

可搬式排水ポンプのイメージ



運用イメージ
市役所職員や維持管理委託業者がトラック等に積込みし、浸水被害箇所へ運搬、設置する。

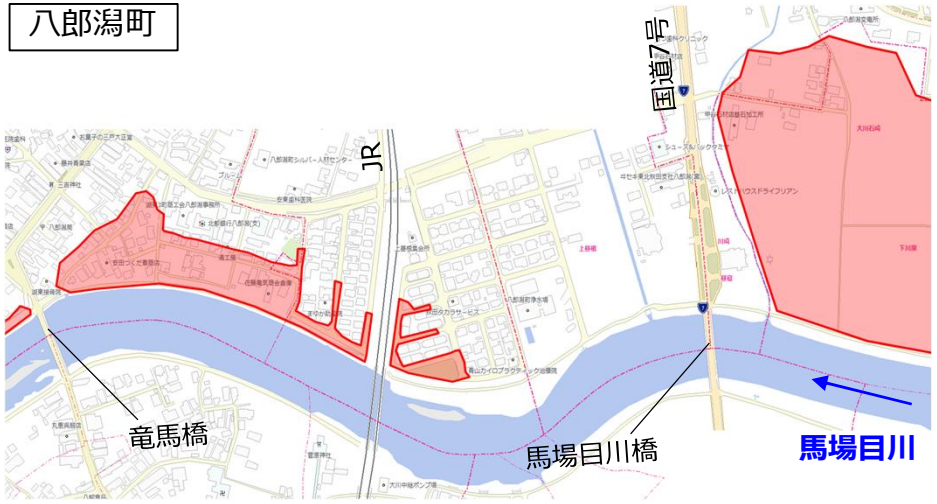


氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

７－１．市街地の内水対策の検討(雨水排水設備等の検討)【八郎潟町、井川町】

・令和５年７月豪雨により、冠水が発生した地区の、雨水排水施設もしくは貯留・浸透施設の整備に向けた調査・検討を行います。

八郎潟町



井川町街道地区



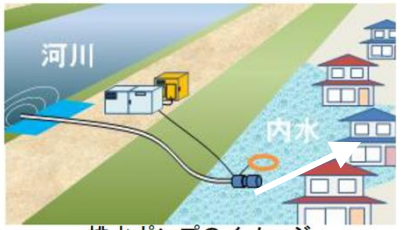
【事業概要】
事業内容：排水ポンプの整備検討
　　貯留・浸透施設の整備検討
事業期間：Ｒ５～
施行地　：八郎潟町、井川町

浸水状況





対策イメージ



排水ポンプのイメージ



敷地内に貯留施設を設置した例
＊国交省HPより引用

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

馬場目川水系
水災害対策プロジェクト

7－2．市街地の内水対策の検討(排水路改修検討)【井川町】

・令和５年７月豪雨により、冠水が発生した地区の排水路改修整備に向けた調査・検討を行います。

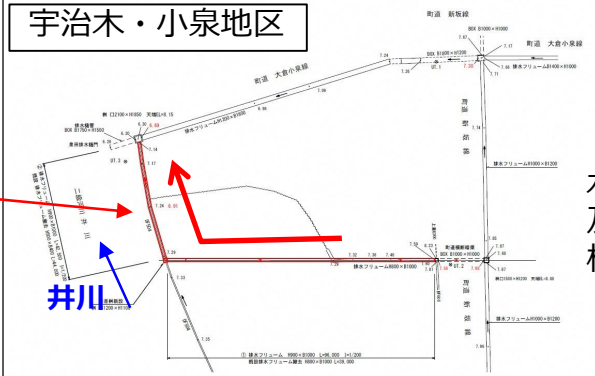




【事業概要】
事業内容：現況排水路調査及び改修検討・実施
事業期間：Ｒ５～
施行地　：井川町

対策イメージ

宇治木・小泉地区



水路の改修及び付け替え検討

街道地区



水路の改修及び吐出口の変更検討

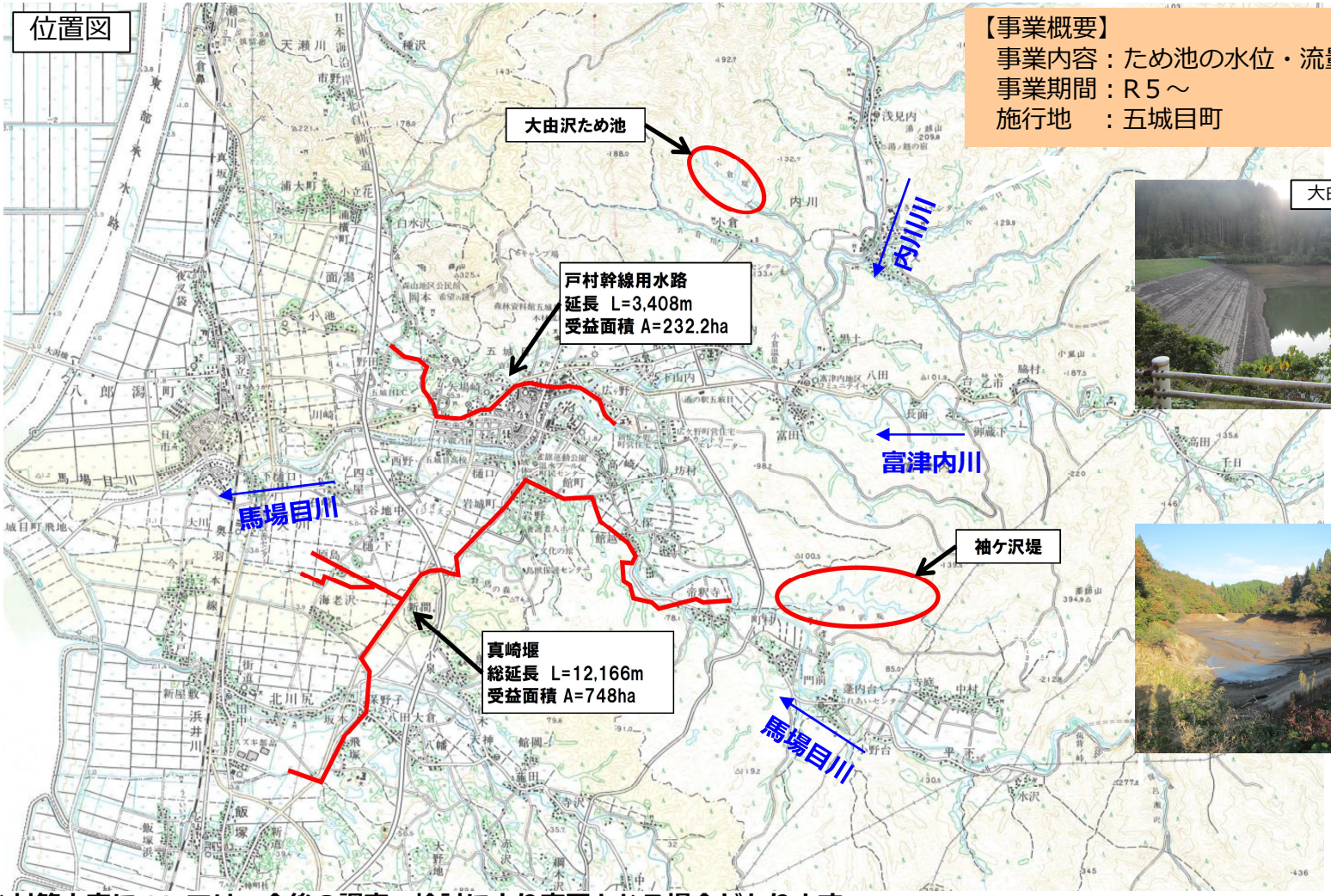
具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

8．ため池の雨水貯留機能の活用【五城目町】

・ため池の水位管理
・水位調節ゲートによる水路への流入量の管理
　雨量が多いと予報される際に、関係機関（土地改良区等）と連携をとり水位調整を図ります。

位置図



【事業概要】
事業内容：ため池の水位・流量管理
事業期間：Ｒ５～
施行地　：五城目町

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

９．森林の浸透、保水機能の発揮【林野庁、県、市町、森林整備センター】

・馬場目川水系において、造林、保育、間伐等の適切な森林整備を行うことで、森林の水を蓄える機能の高度発揮を図り、下流域における洪水被害を減少させるための取組を実施します。

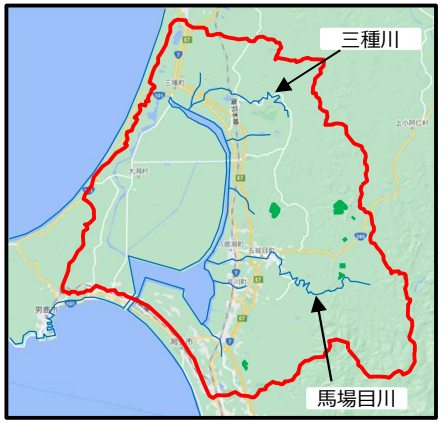
【事業概要】
事業内容：森林整備
事業期間：Ｒ５～
施 行 地：各市町

国有林：東北森林管理局
民有林：秋田県、各市町



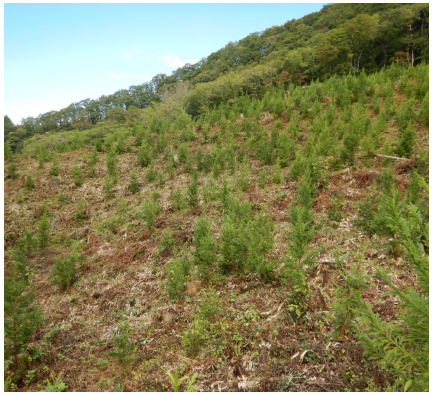
国有林：図の太赤枠内緑色部分
民有林：図の太赤枠内薄緑色部分

民有林内の水源林造成事業地
（図の赤枠内緑色部分）
整備機構森林整備センター



森林整備実施イメージ

【造林：（皆伐後植林）】



【保育：（下刈）】



【間伐】



具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

１０．治山対策の推進【林野庁、県】

・馬場目川水系において、治山対策の推進により森林の有する水を蓄える機能や、土砂災害防止などの公益的機能の高度発揮を図り、下流域における洪水被害や、土砂災害を減少させるための取組を実施します。

【事業概要】
事業内容：渓間工・山腹工
事業期間： Ｒ５～
施 行 地：各市町



国有林：図の太赤枠内緑色部分
民有林：図の太赤枠内薄緑色部分

治山対策イメージ

【渓間工（治山ダム工）】



【山腹工】



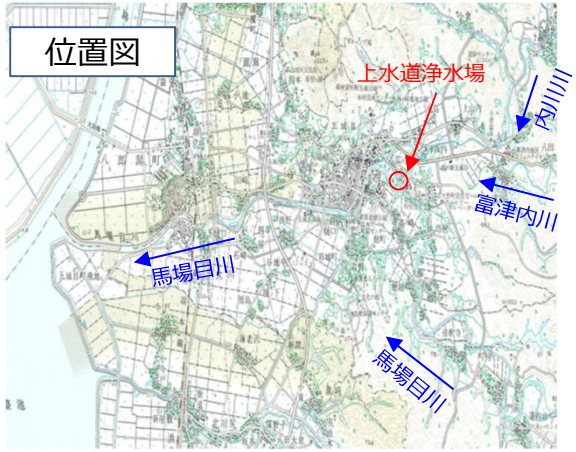
具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

１１．浄水場の浸水対策【五城目町】

・令和５年７月豪雨による馬場目川氾濫により、隣接する五城目町上水道浄水場の取水ポンプ室を始め、場内全施設が浸水し、ポンプ類などが機能停止となり、余儀なく断水となりました。今後同様の状況となっても、水処理・水供給を持続できるよう、施設開口部や受電設備に止水板を設置し、施設を守る対策を実施します。
・取水ポンプ室１棟、浄水管理棟１棟、事務室棟１棟、受電設備１箇所、資材倉庫１棟

【事業概要】
事業内容：浄水場設備への止水板設置
事業期間：Ｒ５
施行地　：五城目町

位置図



被災状況写真





実施イメージ



＊国土地理院地図より引用





具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

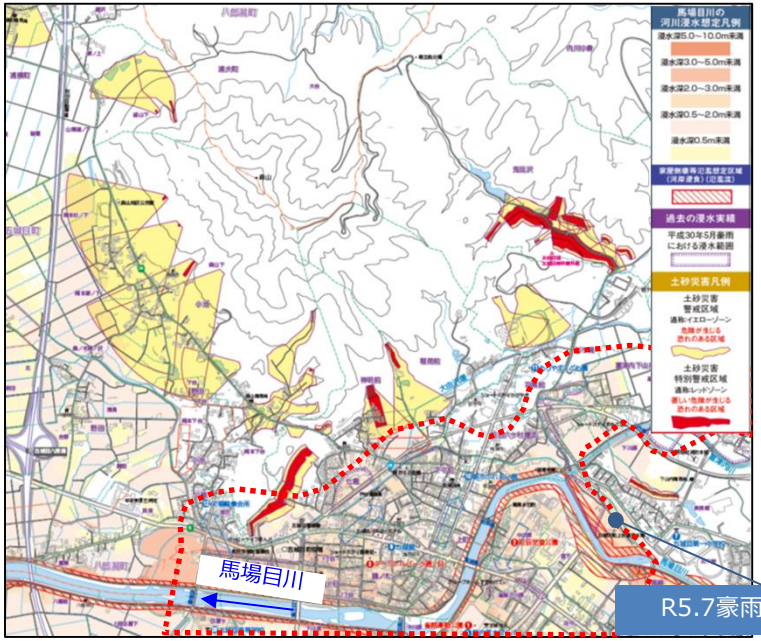
１２．水害リスクを考慮した立地適正化計画の策定による居住誘導等【五城目町】

・町では、都市計画マスタープランの高度化版として、町立地適正化計画を策定します。

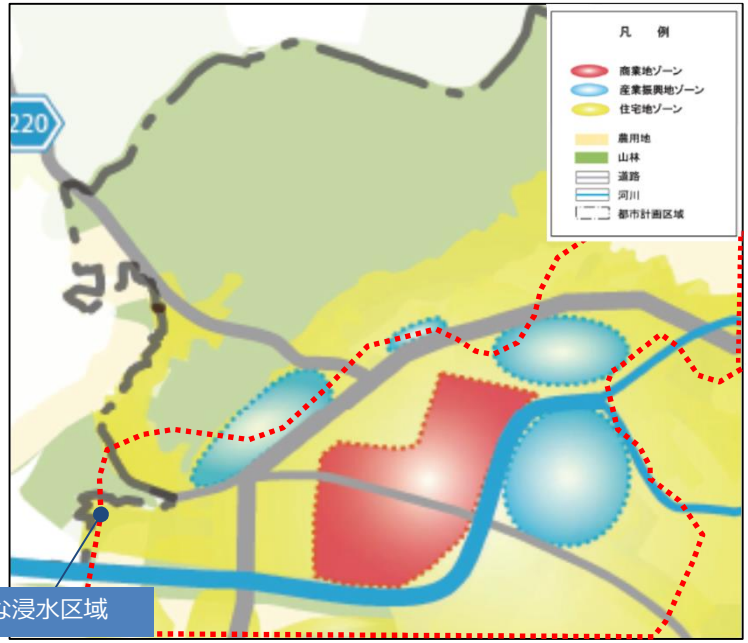
・令和5年7月豪雨災害では、町都市計画マスタープランにおける住宅地ゾーンにおいて、大きな被害を受けた住家も多数あり、町ハザードマップ上での浸水想定エリアや、今後の防災対策を踏まえた計画とします。

・快適な都市形成・持続可能な公共交通網の形成・地域間の連携強化等に加え、浸水エリア等、災害リスクを踏まえた都市機能誘導区域・居住誘導区域を設定し、災害に強いまちづくりの推進を目指します。

【事業概要】
事業内容：立地適正化計画の策定・居住誘導
事業期間：Ｒ５～
施行地　：五城目町



町ハザードマップ（町中心部）



町都市計画マスタープラン土地利用構想図（町中心部）

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

１３．講習会等によるマイタイムライン作成の普及・促進【気象台、県、市町村】

- **秋田県防災アドバイザーの派遣支援**
- **関係機関と連携し、講演等による防災教育の実施**
- **気象情報・河川情報の入手方法の周知**
- **屋内安全確保の考え方、家庭内備蓄の考え方の周知 （＊水害対策ガイドブックの配布など）**

【事業概要】
事業内容：マイタイムライン作成の普及・促進支援
事業期間：Ｒ５～
施行地　：各市町村

【情報周知】





参考：「秋田市水害対策ガイドブック」
避難に必要な情報の入手方法やマイタイムライン作成方法等を記載



アドバイザーによる講演



幼保を対象とした防災紙芝居





アドバイザー派遣による各種実践演習・訓練

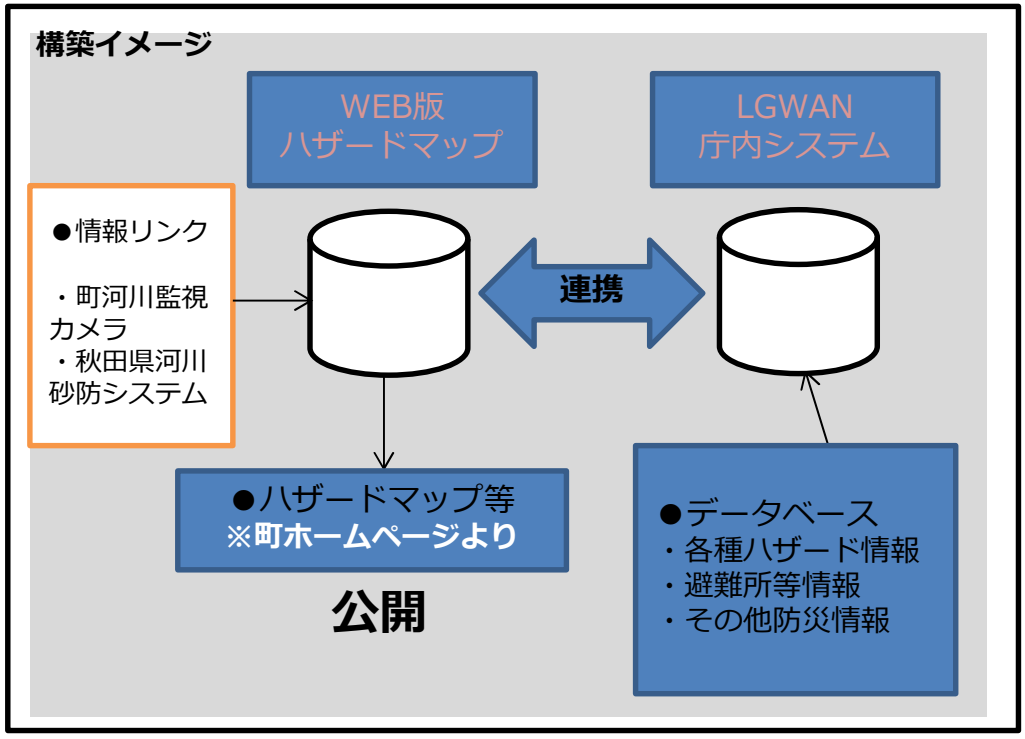
具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

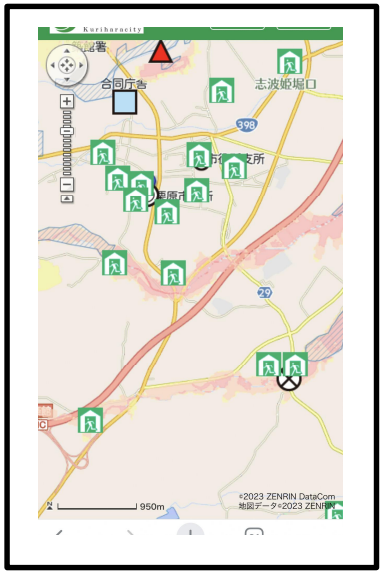
１４．水害リスク空白域の解消【県、市町村】

- **人家浸水被害の恐れのある地区のハザードマップの作成《市町村》**
- **浸水想定区域図の作成《県》**
- **WEBハザードマップの整備構築《三種町》**
- **内水浸水想定区域図の検討《五城目町》**

【事業概要】
事業内容：(WEB)ハザードマップ作成
　　：(内水)浸水想定区域図の作成・検討
事業期間：R5～
施行地　：各市町村

参考：三種町WEBハザードマップイメージ図





画面表示イメージ（スマートフォン）

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

１５－１．水防体制の整備・強化(気象防災ワークショップ)【気象台、県、市町村】

・気象防災ワークショップを開催し、下記取組を行います。

大雨による土砂災害や洪水が懸念される状況において、気象庁から提供される防災気象情報等を適切に活用し、的確なタイミングで体制の強化や避難の判断を実施できるようになるための、基本的な考え方を理解するとともに、その重要性を認識するため、各市町村及び県の各地域振興局の防災担当者を対象に実施します。

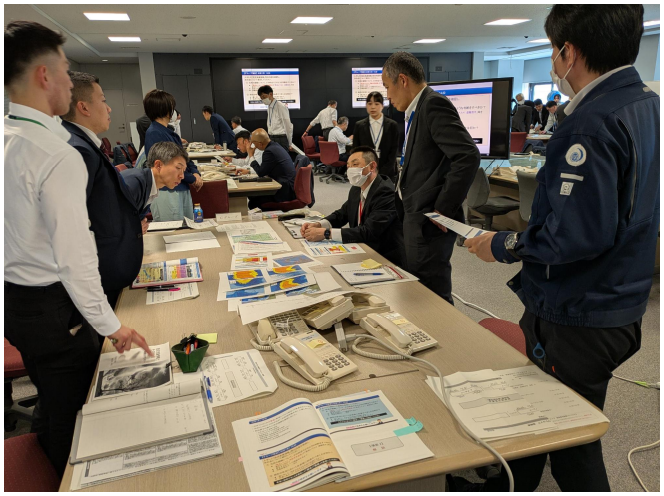
気象台が発表する防災気象情報への理解と、災害対応への活用方法等に関する座学研修（講義）のほか、気象台から提供される各情報を元に、体制の強化や避難情報発令のタイミングなどについて検討・発表することで、判断のポイントを学ぶ機会となります。

【事業概要】
事業内容：防災ワークショップの開催
事業期間： R5～
施行地　：各市町村

実施状況



座学研修の様子



グループワークの様子

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

１５－２．水防体制の整備・強化(水位計センサー及び監視カメラ設置)【県、男鹿市、潟上市】

・水位計センサー及び監視カメラ設置（ CNAとの実証実験）

　CNA（㈱秋田ケーブルテレビ）と共同で、河川に水位計、IPカメラを設置して、水位や雨量を観測し、増水などを遠隔で監視する実証実験を行う予定です。

　LPWA（省電力無線遠隔方式）技術を活用した試みで、大雨による河川状況を遠隔監視し、避難情報や被害の軽減等に繋げます。

※県は河川管理者として独自に、水位計及び監視カメラを設置し、被害軽減に繋げます。

・設置場所：比詰川（県・男鹿市）・馬踏川（潟上市）

«設置位置図»



«イメージ写真»



【事業概要】
事業内容：水位計・河川監視カメラの設置
事業期間：Ｒ５～R6（県、潟上市）
　　：Ｒ５～（男鹿市）
施行地　：男鹿市、潟上市

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

馬場目川水系
水災害対策プロジェクト

１５－３．水防体制の整備・強化(水防活動の強化等)【市町村】

・消防団との連携による水防活動の強化及び、浸水被害時の活動強化を図ります。

〇地域の警戒強化

危険個所の早期発見・対応（土嚢設置・ブルーシート等による応急処置など）

〇水防活動の強化

関係機関が連携した防災訓練（水防訓練）の継続実施

浸水被害における排水作業の実施

〇排水活動の強化

排水ポンプの配備（寄付による配備）

事前に土のうなどの準備を整え、直ちに水防等の活動を実施できる体制の整備

【事業概要】
事業内容：水防活動強化
　　災害時排水活動強化
事業期間：Ｒ５～
施行地　：各市町村

男鹿市消防団の活動例



水防活動（土のう設置訓練）



浸水被害における排水作業

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

別　冊

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○比詰川の河川改修【県】

比詰川の男鹿総合運動公園入口から下流1.4kmの未整備区間は、一部住家連担地区ですが、狭小かつ蛇行しており、令和５年７月豪雨では家屋浸水が確認されました。早期に河川改修を行い、治水安全度の向上を図ります。

位置図



【事業概要】
事業内容：河道掘削、護岸等
事業期間：Ｒ５～
施行地　：男鹿市

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

平面図



R5.7月被害状況







資料ー４－３

令和7年度　馬場目川水系

プロジェクトの進捗状況

馬場目川水系　水災害対策プロジェクト　R7.12月末時点実施状況一覧表

馬場目川水系　水災害対策プロジェクトメニュー	事業内容	事業期間	各メニュー対応状況（R7.12月末時点）
■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策			
1-1.三種川の河川改修【秋田県】	河道掘削、堤防整備	R５～R１６	・延長8.8km(中流部～上流部)について、令和5年度に暫定断面での整備完了。 ・現在は、改修区間のうち長面・芹沢・牛沢の3地区において、完成断面での河川改修を実施中。 ・引き続き事業推進に努める。
1-2.馬踏川の河川改修【秋田県】	河道掘削、堤防整備等	R５～R９	・延長0.3km（金足堀内地区）について、河川改修を実施中。 ・早期完成に向け引き続き事業推進に努める。
1-3.井川の河川改修【秋田県】	河道掘削等	R５～	・延長1.3km（天神地区ほか）について、調査・設計を実施中。 ・引き続き事業推進に努める。
【別冊】比詰川の河川改修【秋田県】	河道掘削、護岸等	R５～	・延長1.4km(比詰地区)について、調査・設計を実施中。 ・引き続き事業推進に努める。
2.馬場目川、富津内川、内川川の治水対策の実施【秋田県】	河道掘削、輪中堤、捷水路等の具体的な対策を河川整備計画に位置付けた上で実施	R５～	・R6.8に馬場目川圏域河川整備計画の変更完了。 ・令和７年度は用地補償契約を進めており、併せて用地買収を伴わない箇所においては、３河川全てで工事着手済み。 ・引き続き事業推進に努める。
3.馬場目川水系河川の災害復旧【秋田県・各市町】	護岸、根固等	R５～R６	【県】工事発注対応中。一部未契約工事が残っているため、今後も継続。 【市】工事発注済み。一部復旧工事対応中。早期完成に向け今後も継続。
4.馬場目川水系河川の河道掘削、伐木、除根【秋田県・各市町村】	河道掘削、伐木、除根等	R５～	【県】令和７年度は、秋田管内では馬場目川等、山本管内では三種川等の河道掘削、伐木、除根を実施しており、他の河川についても、緊急的に必要となった区間を実施予定。今後も継続。 【市町村】緊急的に必要となった区間について河道掘削、伐木、除根を実施予定。今後も継続。
5.下水道施設雨水幹線の整備【五城目町】	雨水幹線整備	R５～	・令和７年度は、一部フラップゲートの設置工事を発注。現在工事中。 ・他の対策メニューについては引き続き検討を行う。
6.雨水排水ポンプの整備【潟上市】	可搬式排水ポンプ導入	R５～R８	・令和６年度及びＲ７年度にそれぞれ可搬式ポンプを１台ずつ整備。
7.市街地の内水対策検討（排水ポンプ、貯留・浸透施設等）【八郎潟町・井川町】	排水ポンプの整備検討 貯留・浸透施設の整備検討 現況排水路調査及び改修検討・実施	R５～	【八郎潟町】令和７年度に可搬式ポンプを１１台整備。貯留施設等についても引き続き検討を行う。 【井川町】令和６年度に小泉・宇治木地区の排水路の改修工事が完成。 令和７年度に可搬式ポンプを２台整備。
8.ため池の雨水貯留機能の活用【五城目町】	ため池の水位・流量管理	R５～	・ため池を活用する場合、所有者（土地改良区等）の協力が必須となるため、対応等について引き続き検討を行う。
9.森林の浸透、保水機能の発揮【林野庁・秋田県・各市町・森林整備センター】	森林整備	R５～	【林野】森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、国有林野施業実施計画に基づき、森林整備事業を実施中。 【県】各事業実施主体が森林経営計画に基づき森林整備を実施中。 【市町】民有林の森林整備については、林業企業経営体が行う間伐や森林経営計画の作成、皆伐後の再造林および保育管理に対して支援をしながら森林の適切な管理を進めている。また市町有林においては、皆伐再造林を行いながら、木材供給と公有林が持つ公益的機能の維持向上に努めている。 【森林整備センター】水源涵養機能の増進を図るため、森林整備事業を継続実施している。
10.治山対策の推進【林野庁・秋田県】	渓間工・山腹工	R５～	【林野】R7は計画3地区のうち、1地区は工事完成し、1地区は現在工事中。残る1地区についても早期工事着手に向け取組を進める。 【県】R6計画5地区のうち、5地区で工事に着手済み。
■被害対象を減少させるための対策			
11.浄水場の浸水対策【五城目町】	浄水場設備への止水板設置	R５～	・令和５年度より止水板の設置を進め、令和６年９月対策完了。
12.水害リスクを考慮した立地適正化計画の策定　による居住誘導等【五城目町】	立地適正化計画の策定・居住誘導	R５～	・令和７年度より計画策定に着手。早期策定に向けて現在作業を進めている。
■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策			
13.講習会等によるマイタイムライン作成の普及促進【気象台・秋田県・各市町村】	マイタイムライン作成の普及・促進支援	R５～	・令和4年に水害ハザードマップを作成し、町内会や学校での防災講話で情報の入手方法や家庭内備蓄、避難にかかる行動計画であるマイタイムライン作成について普及を図っている。 ・今後も防災講話等の機会を捉え、普及に努める。 ・【秋田市】水害ハザードマップは、馬踏川および新波川の水位周知河川への格上げに伴い、令和６年度中に一部更新を行い、対象地区の住民に配布している。
14.水害リスク空白域の解消【秋田県・各市町村】	(WEB)ハザードマップ作成 (内水)浸水想定区域図の作成・検討	R５～	【県】洪水浸水想定区域図の作成を実施中。 【三種町】WEBハザードマップを町HPにて令和6年2月から公開しており、令和7年12月には一部更新を行っている。 【五城目町】内水浸水想定区域図について、R7.1末に作成完了し、R7.2月より五城目町HPにて公開中。 防災マップ（洪水及び内水等ハザードマップ）の改訂について、現在改訂作業を進めている。
15.水防体制の整備・強化【秋田県・各市町村】	防災ワークショップの開催 水位計・河川監視カメラの設置 水防活動強化 災害時排水活動強化	R５～	【県】防災ワークショップについて、継続実施。 令和6年度に、河川監視カメラを4箇所設置(馬場目川、内川川、比詰川、鵜川川)。 【潟上市】R6.4～9で、CNAとの共同で実証実験を実施し、遠隔による河川等の状況把握の有効性を確認。 【三種町】水防活動の強化に関し、内水対策として令和6年6月及び令和7年6月にそれぞれ２基ずつ、計4基の小型排水ポンプ車を導入。 町既設の三種川河川監視カメラについて、今年度更新業務を実施中。（アナログカメラ→デジタルIPカメラに変更等） 【男鹿市】令和6年度にCNAと共同で河川の増水を遠隔で監視する実証実験を実施し、令和7年度は河川カメラ・水位センサーを整備予定。 【市町村】水防体制の整備・強化について、継続実施。

※赤字:対策を実施中または調査時点で完了している取組

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【取組進捗：2.馬場目川、富津内川、内川川の治水対策の実施】（秋田県）

・馬場目川の流域では、令和4年8月豪雨、令和5年7月豪雨と2年連続で災害が発生した
・特に馬場目川、富津内川、内川川では河川が氾濫し、多くの家屋で浸水被害が生じた
・早急に河川改修を行い、家屋浸水の解消を図ることが必要

【取組状況】

〇令和7年度は、用地説明会を開催し、用地補償契約を進めている。
〇馬場目川では令和6年度より河道掘削を行っているが富津内川と内川川においても工事に着手している。







図―２１　整備計画対象区間（馬場目川、富津内川、内川川）

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【取組進捗：６.雨水排水ポンプの整備】～可搬式ポンプの設置（潟上市）　～

・可搬式排水ポンプの整備・設置（潟上市）

【取組状況】

・内水被害が頻発する河川馬踏川及び豊川の堤内地等での浸水被害を解消・軽減するため、計2台（令和6年度・令和7年度　1台ずつ）を整備。
・大雨浸水被害が想定される時に、あらかじめ可搬式排水ポンプを設置し、緊急時にすぐに稼動できるようにしている。
・令和7年度は計2回設置しているが、稼動実績はない。
（8月20日・9月2日）
・今年度の総合防災訓練で消防団員・市職員を対象にした、可搬式排水ポンプ設置稼動訓練を実施。

【令和７年潟上市総合防災訓練における可搬式排水ポンプ設置稼動訓練状況写真】





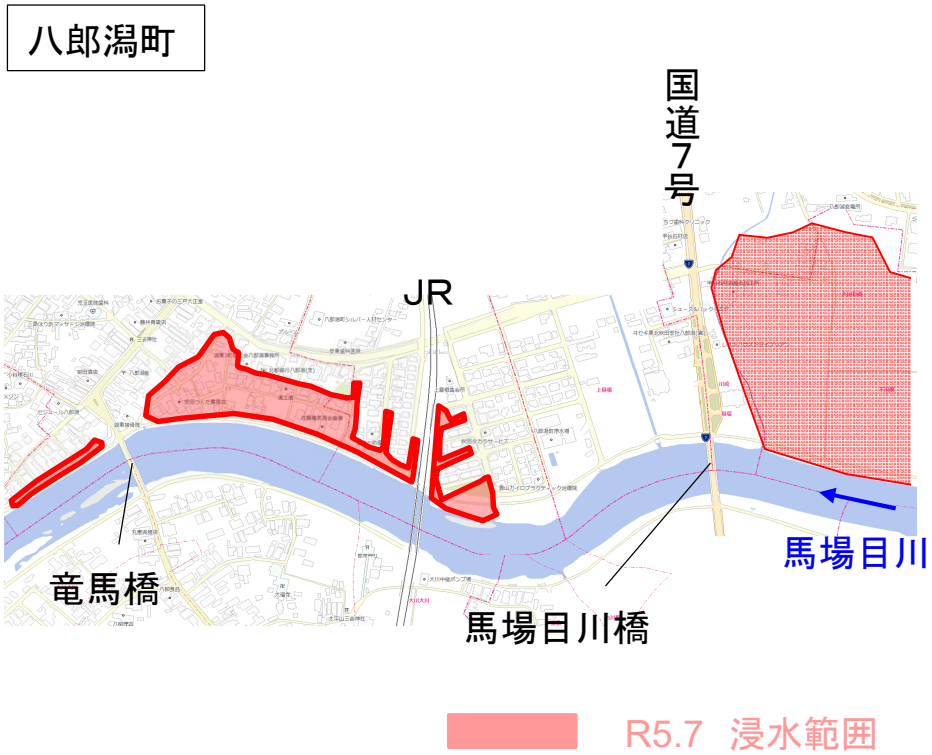


■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【取組進捗：７.市街地の内水対策検討】～可搬式排水ポンプの整備（八郎潟町）　～

・当プロジェクトの取組として、浸水被害を解消・軽減するため、可搬式排水ポンプの導入を検討
・排水ポンプは、内水被害が頻発する2級河川馬場目川の堤内地等での使用を想定
・令和7年度は、可搬式排水ポンプを１１台整備

内水被害状況〔令和５年７月豪雨 2級河川馬場目川〕



令和７年度導入　可搬式排水ポンプ





■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【取組進捗：７.市街地の内水対策検討】～可搬式排水ポンプの整備（井川町）　～

・市街地の内水対策として、可搬式排水ポンプの導入を検討。
・排水ポンプは、大雨による河川の増水時に内水氾濫が発生する可能性が高い地域での使用を想定。
・令和7年度は、可搬式排水ポンプを2台整備

【取組状況】

令和７年度に排水ポンプ２台を整備した。
令和7年９月２日(火)の大雨では浜井川地内で内水氾濫の危険が予想されたため排水ポンプ２台を稼働した。







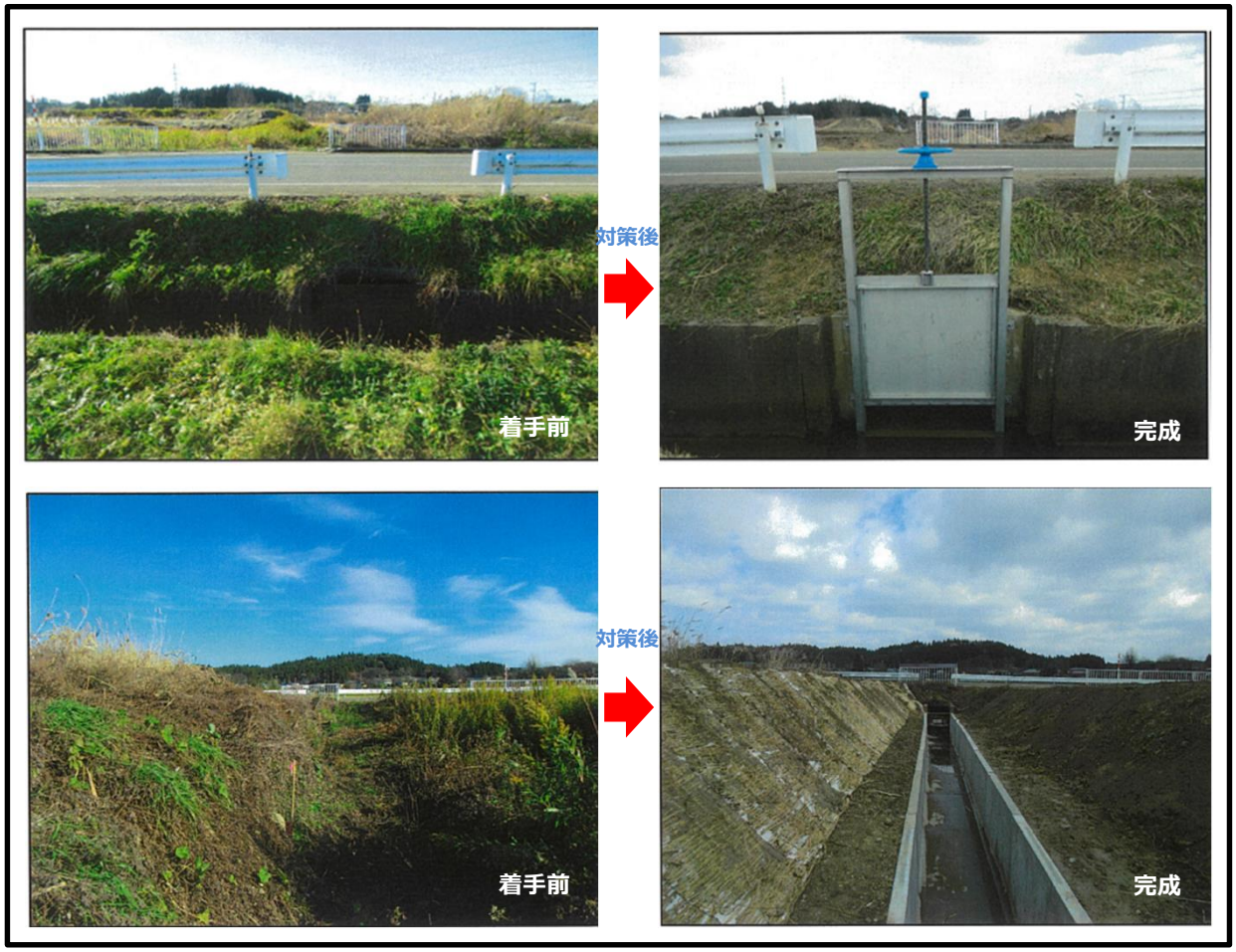
■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【取組進捗：７.市街地の内水対策検討】～排水路改修の実施（井川町）　～

・宇治木・小泉地区の内水氾濫対策として、排水路改修工事を実施。
・大型排水フリューム（L＝139.4m）、コンパクトゲート1基を設置したことで大雨時の用水路等の排水能力が上がり、氾濫被害を軽減する効果が期待される。





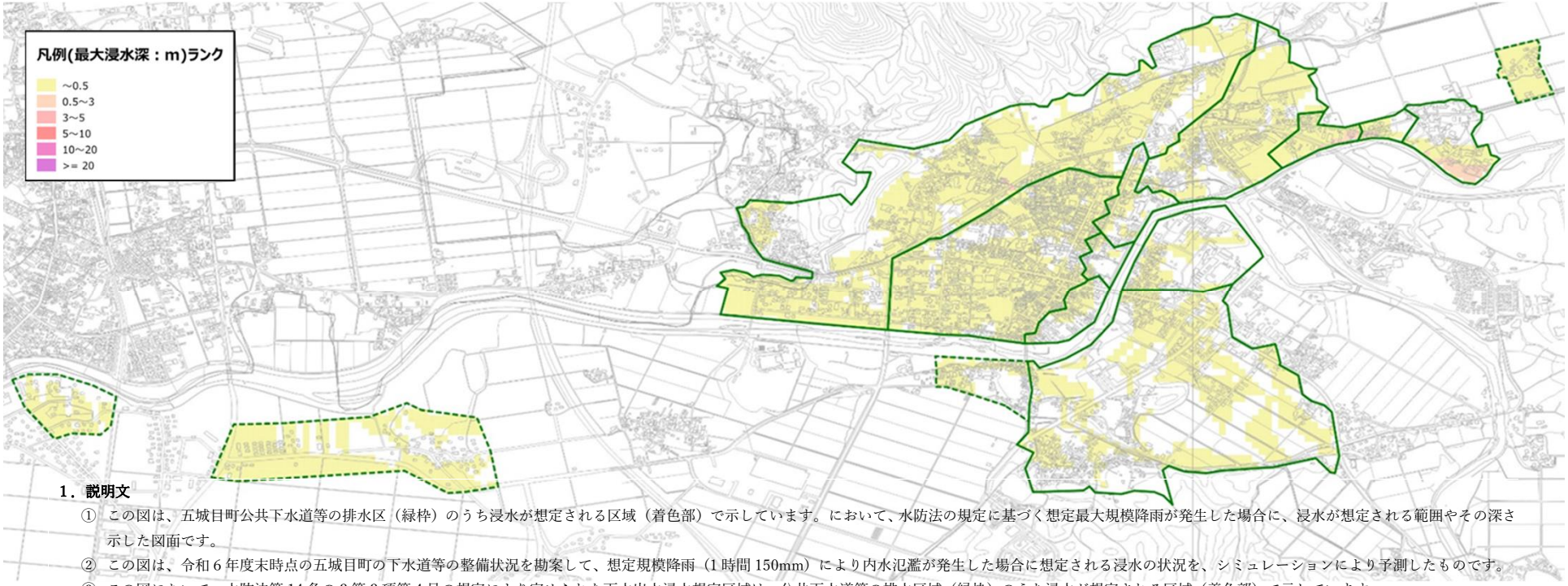


■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【取組進捗：14.水害リスク空白域の解消】

～、内水浸水想定区域図の作成・公表、 WEBハザードマップの公開（五城目町）～

・住民等へ災害リスク情報を周知するため、ソフト対策を実施
・令和７年２月１４日に水防法に基づく雨水出水（内水）浸水想定区域図を指定し、公表
・令和８年６月よりＷＥＢハザードマップの運用を開始予定



1．説明文

① この図は、五城目町公共下水道等の排水区（緑枠）のうち浸水が想定される区域（着色部）で示しています。において、水防法の規定に基づく想定最大規模降雨が発生した場合に、浸水が想定される範囲やその深さ示した図面です。

② この図は、令和６年度末時点の五城目町の下水道等の整備状況を勘案して、想定規模降雨（1時間 150mm）により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。

③ この図において、水防法第 14 条の２第２項第４号の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、公共下水道等の排水区域（緑枠）のうち浸水が想定される区域（着色部）で示しています。

2．基本事項等

① 作成主体：秋田県五城目町

② 指定年月日：令和７年２月１４日

③ 告示番号：五城目町告示第１０号

④ 指定の根拠法令：水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 14 条の２第２項第４号

⑤ 指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨（1時間 150mm）

⑥ その他計算条件等：樋門については、排水先河川の水位が、氾濫の危険がある水位まで上昇した場合などに、樋門の閉鎖を行う条件としています。

3．備考

シミュレーション実施にあたっては、指定の前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、河川の破堤や越水による氾濫等を考慮していませんので、この図での指定を超える浸水が発生する可能性があります。

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【取組進捗：15.水防体制の整備・強化】
～水位計・河川カメラの設置（男鹿市）～

・令和5年7月の大雨により、比詰川が氾濫し、比詰・田中地区において床上・床下浸水が発生
・自然災害による被害を最小限に抑えるため地域住民への迅速な避難指示や情報発信が課題
・遠隔一括監視で複数地点の河川状況をリアルタイムで把握ができる体制が必要

【取組状況】

〇令和6年4月から㈱秋田ケーブルテレビと共同で増水を遠隔で監視する実証実験を実施。
〇令和7年度は河川カメラ3台（鮪川川・比詰川・保量川）・水位センサー2台（比詰川・保量川）を設置。
〇過去に被害があった3河川に、河川カメラ・水位センサーを設置し、市民への避難情報の早期発信や浸水による被害の軽減を図る。



設置イメージ図

河川カメラ・水位センサー　設置場所

